

リファレンス・マニュアル
54G+ ワイヤレス・ストレージ・
ルータ WGT634U



NETGEAR

NETGEAR, Inc.
4500 Great America Parkway
Santa Clara, CA 95054 USA

Version v1.0
2004 年 8 月

© 2004 NETGEAR, Inc. All rights reserved.

商標

NETGEAR、NETGEAR ロゴ、Gear Guy、Everybody's connecting は、米国およびその他の国における NETGEAR, Inc.の商標または登録商標です。

Microsoft、および Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Atheros、Atheros Super G、Total 802.11 は、米国およびその他の国における Atheros Communication, Inc.の商標です。

その他のブランド名および製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

記載内容は、予告なしに変更することがあります。

ご注意

NETGEAR は、内部デザインの改良、操作性または信頼性の向上のため、本書に記載されている製品を予告なく変更する場合があります。

NETGEAR は、本書に記載されている製品・回路設計を使用または応用することにより発生した損害に関して、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置 (住宅地域、またはその隣接地域において使用されるべき情報装置) で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に適合しています。しかし、この装置をラジオやテレビ受信機に近づけて使用すると、受信障害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

テクニカル・サポート

NETGEAR 製品のインストール、設定、または仕様に関するご質問や問題については、お買い求めになった販売店へご相談ください。もしくは、下記の NETGEAR カスタマ・サポートまでご連絡ください。

本製品の無償保証期間は 3 年間です。保証は、 SEND BACK、ユニット交換での対応となります。

無償保証を受けるためにはユーザ登録が必要です。

ユーザ登録をするには、<http://www.netgearinc.co.jp/> にアクセスしてください。

NETGEAR カスタマ・サポート

電話: 0120-921-080

受付時間: 平日 9:00 - 20:00、土日祝 10:00 - 18:00 (年中無休)

E-mail: esupport@netgearinc.co.jp

目次

第1章

本書について

第2章

はじめに

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータ	2-1
WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータの主な特長	2-1
ファイル共有のための USB 記憶デバイス	2-2
DMZ サポート	2-2
802.11g ワイヤレス・ネットワーク	2-3
ファイアウォール、コンテンツ・フィルタ	2-3
セキュリティ	2-4
オートセンス Ethernet 接続	2-4
プロトコル・サポート	2-4
簡単なインストールと管理	2-5
メンテナンスとサポート	2-6
パッケージ内容	2-7
WGT634U の前部パネル	2-7
WGT634U の後部パネル	2-9
本書で必要な情報を得るためのロードマップ	2-10

第3章

ルータをインターネットに接続する

準備	3-1
ケーブル配線とコンピュータ・ハードウェアの要件	3-1
コンピュータ・ネットワークの要件	3-1
インターネット設定の要件	3-2
インターネット設定パラメータの入手	3-2
インターネット接続情報を記録する	3-3
WGT634U をインターネットに接続する	3-4
ワイヤレス接続の基本設定	3-9
基本設定のトラブルシューティングのヒント	3-10
スマート・ウィザード・オプションを理解する	3-10

PPPoE スマート・ウィザード検出オプション	3-11
PPTP スマート・ウィザード検出オプション	3-12
Telstra BigPond スマート・ウィザード検出オプション	3-13
動的 IP スマート・ウィザード検出オプション	3-14
固定 IP スマート・ウィザード検出オプション	3-15
インターネット接続の手動設定	3-16

第 4 章

ワイヤレス設定

パフォーマンス、設置場所、接続範囲のガイドライン	4-1
適切なワイヤレス・セキュリティの導入	4-2
ワイヤレス設定を理解する	4-3
WEP 認証と暗号化を理解する	4-4
セキュリティ・オプションの選択	4-4
認証方式の選択	4-4
暗号化強度の選択	4-5
工場出荷時のデフォルト設定	4-5
SSID と暗号化設定を変更する前に	4-6
ワイヤレス接続の設定とテスト	4-7
高度なワイヤレス設定を理解する	4-8
MAC アドレスによるワイヤレス・アクセスの制限	4-9
WEP 暗号化の設定	4-11
WPA-PSK の設定	4-12

第 5 章

USB ドライブをルータに接続する

ファイル共有のシナリオ	5-1
写真を友人や家族で共有する	5-2
ゲームや印刷のためのファイルを一箇所で保存する	5-3
大きなサイズのファイルを共有する	5-4
USB 設定を理解する	5-5
USB ドライブを WGT634U に接続する	5-6
USB ドライブの要件	5-7
インターネットからリモート・アクセスするために USB ドライブ・ウィザードを使用する	5-7
USB ドライブ・メニューから FTP アクセス権を設定する	5-9
USB ドライブへのユーザ・アクセス設定	5-9

USBドライブを取り外す	5-10
USBドライブのアクセス方法を理解する	5-10
ローカル WEB ブラウザから USB ドライブに接続する	5-11
リモート・コンピュータから USB ドライブに接続する	5-11
インターネット・ポートの IP アドレスを確認する	5-11
FTP を使って USB ドライブにリモート・アクセスする	5-12
ホーム／オフィス・ネットワークから USB ドライブに接続する	5-12
ファイルやプリンタの共有	5-12
Windows 98SE、Me での設定	5-12
Windows スタート・メニューから USB ドライブに接続する	5-13
Windows エクスプローラから USB ドライブに接続する	5-13
マイネットワークから USB ドライブに接続する	5-14

第 6 章

コンテンツ・フィルタ

インターネット・サイトへのアクセスを禁止する	6-1
インターネット・サービスへのアクセスを禁止する	6-2
スケジュール	6-4
Web アクセス・ログの表示	6-5
E メールによる Web アクセス・ログ通知の設定	6-7

第 7 章

メンテナンス

ステータス情報の参照	7-1
接続状態	7-3
接続統計	7-4
接続デバイスの参照	7-5
ルータ・ソフトウェアのアップグレード	7-5
ファームウェア・アップグレードの要件	7-6
ログイン時にファームウェア・アップグレードを確認する	7-7
メニューからファームウェア・アップグレードを実行する	7-7
設定ファイルの管理	7-8
設定の復元、バックアップ	7-9
設定の消去	7-10
管理者パスワードの変更	7-10

第 8 章

高度な設定

ローカル・サーバへのポート転送	8-1
ポート転送するサービスの追加	8-2
ポート転送エントリの修正、削除	8-2
ローカル Web サーバと FTP サーバの例	8-3
Counter-Strike、Unreal Tournament、Quake III などのために複数のコンピュータを 設定する	8-3
WAN 設定オプション	8-4
ダイナミック DNS サービス	8-6
LAN IP 設定オプション	8-7
ルータを DHCP サーバに設定する	8-9
予約アドレス	8-10
静的ルート	8-11
リモート管理	8-13
ユニバーサル・プラグ & プレイ (UPnP)	8-14

第 9 章

トラブルシューティング

基本機能のトラブルシューティング	9-1
電源 LED が点灯しない	9-2
LED が消灯しない	9-2
LAN LED とインターネット LED が点灯しない	9-2
Web 設定インタフェースへの接続トラブルシューティング	9-3
ISP 接続のトラブルシューティング	9-4
Ping ユーティリティを使用した TCP/IP ネットワークのトラブルシューティング	9-5
ルータへの LAN パスをテストする	9-5
PC からリモート・デバイスへのパスをテストする	9-6
IP アドレスを更新する	9-7
初期設定とパスワードの復元	9-8
Web 設定インタフェースのトラブルシューティング	9-8
日付と時間に関する問題	9-8
設定変更保存に関する問題	9-8
USB ドライブのトラブルシューティング	9-9
ファームウェア・アップグレードのトラブルシューティング	9-10

第 1 章 本書について

このたびは、NETGEAR 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U をお買い上げいただきありがとうございます。

このリファレンス・マニュアルでは、WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータの詳細設定、あるいは高度な設定について説明します。

基本的なインストールと設定については、インストール・ガイドをご覧ください。

製品のアップデート、最新のドキュメンテーションは、NETGEAR の Web サイトをご覧ください。
www.netgearinc.co.jp

第 2 章 はじめに

この章では、NETGEAR 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U の特長を説明します。

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータ

NETGEAR 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U は、4 ポート・スイッチを装備し、ケーブル / DSL モデムを介してローカル・エリア・ネットワーク (LAN) とインターネットとを接続します。

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは、Web コンテンツ・フィルタにより Web アクセスを制限することができ、PC が参照した Web サイトはロギングされ、ログを E メールで送信することができます。ネットワーク管理者は、日時、Web サイトのアドレス、アドレスに含まれるキーワードに基づいてアクセスを制限するためのポリシーを設定することができます。最高 253 台の PC で、高速なケーブル / DSL インターネット接続を共有することができます。NAT (Network Address Translation) に加え、ファイアウォール機能によりハッカーの攻撃から保護します。

ホーム・ネットワークは、ブロードバンド・インターネットを共有するために、最初に有線接続 (第一世代) を、続いてワイヤレス (第二世代) を利用して広まってきました。その後、インターネット対応機器が増加し、第三世代のパフォーマンスと機能を備えたワイヤレス・ルータが登場しました。

WGT634U は、USB 記憶デバイスを接続しワイヤレスで高速にアクセスすることが可能な第三世代のワイヤレス・ルータです。ルータに接続した大容量の USB ドライブにファイル、オーディオ、ビデオ・コンテンツを保存したり、そこから読み出したりすることができます。WGT634U を利用すれば、ディスクに保存した音楽や写真にアプリケーションからアクセスする、またリモートから共有フォルダにアクセスするといった、先進のネットワーク機能を利用することができます。

ルータの設定は簡単で、最小限のステップでルータをインストールし、使用することができます。

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータの主な特長

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータには、以下のような特長があります。

- 802.11b、および 802.11g ワイヤレス・ネットワークとの互換性

- Atheros Communications 社の Super G に対応し、54 Mbps 802.11g 標準以上の高いパケット転送能力を提供します。
- 4 ポート 10/100 Mbps スイッチを装備
- ケーブル・モデムや DSL モデムなどの WAN デバイスへの Ethernet 接続
- 広範なプロトコル・サポート
- セキュリティ
 - NAT (Network Address Translation) および SPI (Stateful Packet Inspection)
 - DoS (Denial of Service) 攻撃からの防御
 - 64 ビットおよび 128 ビット WEP
 - WPA-PSK (Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key)
 - VPN パススルー
 - セキュリティ・ロギング
 - URL コンテンツ・フィルタ、サイト・ブロッキング
- デフォルト DMZ サーバ
- フラッシュ・メモリによるファームウェア・アップグレード
- 記憶デバイス接続用の USB 2.0 ポートを装備

ファイル共有のための USB 記憶デバイス

WGT634U は USB 2.0 インタフェースを装備し、大容量 USB ハード・ディスクや USB フラッシュ・ディスクなどの外部記憶デバイスを接続することが可能です。そして、ネットワーク経由の集中バックアップや、ファイルやマルチメディア・コンテンツの保管と共有が可能です。

DMZ サポート

DMZ (Demilitarized Zone) は、複数の TCP/IP ポートを開く必要があるとき、1 台のコンピュータ (IP アドレス) だけをインターネットに公開することを許可します。

DMZ を使う場合は、コンピュータ (DMZ ホスト) に静的 IP を設定します。DMZ ホストにルータの IP アド

レス(パブリック IP)を共有させることなく、指定されたすべてのリクエストが DMZ ホストに転送されます。

802.11g ワイヤレス・ネットワーク

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは 802.11g ワイヤレス・アクセス・ポイントを内蔵し、ワイヤレス・デバイスと Ethernet デバイス間的高速 54 Mbps 接続を提供します。アクセス・ポイントは、以下の機能を提供します。

- 54 Mbps 802.11g ワイヤレス・ネットワーク
- 11 Mbps 802.11b ワイヤレス・ネットワークとも互換性があり、11g のみ、11b のみ、または 11b+11g の各モードで動作します。
- 64 ビットおよび 128 ビット WEP 暗号化セキュリティ
- パスフレーズまたは手動による WEP キーの生成
- WPA-PSK (Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key) 暗号化セキュリティ
- MAC アドレスによるワイヤレス・アクセスの制限
- ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) のブロードキャストを止めることにより、正しい SSID を設定したデバイスだけが接続することができます。

ファイアウォール、コンテンツ・フィルタ

インターネットを共有するだけの単純な NAT ルータとは異なり、WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは真のファイアウォールを装備しています。ステートフル・パケット・インスペクションにより、ハッカーからの攻撃を防御します。WGT634U は以下のファイアウォール機能を提供します。

- DoS (Denial of Service) 攻撃からの保護。Ping of Death、SYN Flood、LAND Attack、IP Spoofing のような DoS 攻撃を検出し防御します。
- インターネットから LAN への不必要なトラフィックをブロックします。
- LAN から禁止したサイト、または禁止したサービスへのアクセスをブロックします。
- WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは、好ましくない Web コンテンツを PC で参照できないように設定することができます。Web コンテンツへのアクセス制限は、Web アドレスに含まれるキーワードを検出することによって行われます。禁止した Web コンテンツ (Web サイト) へのアクセスはログされます。

セキュリティ

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータには、前述のファイアウォール以外にもセキュリティを維持するためのいくつかの機能を備えています。

- NAT
NAT は、ローカル・ネットワークからのリクエストにより、一時的なパスをインターネットに開きます。外部のユーザが LAN 上の PC に直接アクセスすることができないように、外部からのリクエストは破棄します。
- ポート転送
ルータは、受信リクエストのサービス・ポート番号に基づいて、特定の PC、あるいは特定の DMZ ホスト・コンピュータに受信トラフィックを転送することができます。単一ポート、またはポートの範囲で転送を指定することができます。
- セキュリティ・イベントのログ
WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは、ブロックされた受信トラフィック、ポート・スキャン、攻撃、および管理者ログインなどのセキュリティ・イベントをログします。ログは指定された間隔で E メールで送ることができます。また、重大なイベントが発生したときは、警告メッセージを直ちに送るように設定することもできます。

オートセンス Ethernet 接続

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは 4 ポート 10/100Mbps スイッチを装備し、10Mbps Ethernet、および 100Mbps Fast Ethernet のどちらにも接続することができます。LAN および WAN インタフェースはオートセンスで、全二重または半二重で動作します。

ルータは Auto Uplink™ をサポートしています。ポートは接続された Ethernet ケーブルがストレート・ケーブルかクロスオーバー・ケーブルかを自動的に検知し、ポートを正しく構成します。Auto Uplink ではストレート・ケーブルでもクロスオーバー・ケーブルでも正しく接続することができ、どちらのケーブルを使うか悩む必要がありません。

プロトコル・サポート

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは、TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)、および RIP (Routing Information Protocol) をサポートします。

- NAT による IP アドレスの共有

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータを利用すると、インターネット・サービス・プロバイダ (ISP) によって静的または動的に割り当てられた 1 つの IP アドレスを使用するインターネット・アカウントを、複数台の PC で共有することができます。この技術は NAT と呼ばれ、料金の安いシングル・ユーザ ISP アカウントで使用されます。

- **DHCP による PC の自動設定**
DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) によって、LAN 上の PC に対して IP アドレス、ゲートウェイ・アドレス、ドメイン・ネーム・サーバ (DNS) アドレスなどのネットワーク設定情報を、ルータから動的に割り当てることができます。これにより、ローカル・ネットワークの PC の設定を単純化することができます。
- **DNS Proxy**
DHCP が有効で DNS アドレスが指定されないとき、ルータはコンピュータに対して自身のアドレスを提供します。ルータは ISP へ接続するときに ISP から実際の DNS アドレスを入手し、LAN からの DNS リクエストを転送します。
- **PPPoE (PPP over Ethernet)**
PPPoE はダイヤルアップ接続をシミュレートし、DSL 接続でリモート・ホストをインターネットに接続するためのプロトコルです。ルータを利用すれば、PC でログイン・プログラムを実行する必要がありません。

簡単なインストールと管理

NETGEAR 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U は、ネットワークに接続した後、数分で設定し使用することができます。インストールと管理を簡単にする機能には以下のようなものがあります。

- **ブラウザ・ベースの管理**
WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは、Windows、Macintosh、Linux といったコンピュータのタイプを問わず、ブラウザから簡単に設定することができます。ユーザ・フレンドリーなセットアップ・ウィザードが提供され、さらにオンライン・ヘルプが常に画面に表示されます。
- **スマート・ウィザードによるインターネット接続設定**
WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータのスマート・ウィザードは、自動的にインターネット接続タイプを検出します。そして、最低限の ISP アカウント情報を入力すれば、インターネットに接続することができます。
- **スマート・ウィザードによる USB ドライブ設定**
WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータのスマート・ウィザードは、USB ドライブの接続を自動認識し簡単に設定することができます。

- **ファームウェアの自動更新**
WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは、インターネットでファームウェアの新しいバージョンが利用できるかどうかを自動的にチェックします。新しいバージョンが検出できた場合は、すぐにインストールすることができます。これにより、WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータを常に最新の状態にしておくことが可能です。
- **LED によるモニタリング**
WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータの前部パネルには LED が装備され、ステータスと動作をモニタすることができます。

メンテナンスとサポート

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータを最大限にご活用いただくために、以下のサポートが提供されます。

- フラッシュ・メモリによるファームウェア・アップグレード
- 無料電話サポート

パッケージ内容

パッケージには、以下のものが含まれています。

- NETGEAR 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U
- AC アダプタ
- 縦置きスタンド
- カテゴリ 5 (CAT5) Ethernet ケーブル
- リソース CD
 - リファレンス・マニュアル(本書)
- インストール・ガイド
- 製品保証規定

間違ったパーツや壊れたパーツが入っている場合、パーツが足りない場合は、お買い上げいただいた販売店、または NETGEAR カスタマ・サポートまでご連絡ください。

製品のパッケージ(箱)は保管しておいてください。修理・交換のため返品する際は、このパッケージに入れて返送してください。

ルータの前面パネル

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータの前面パネルには、ステータス LED が装備されています。

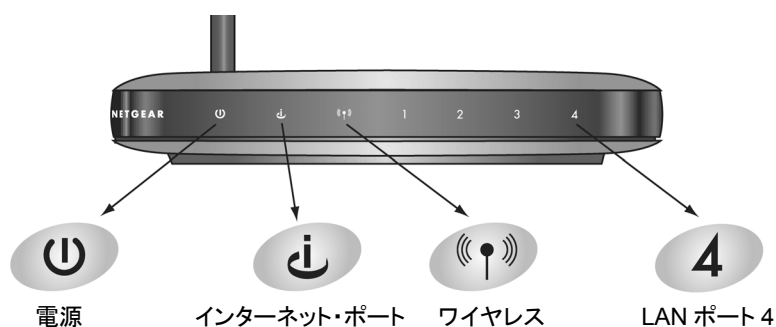






図 2-1: WGT634U の前面パネル

前部パネルの LED で接続を確認することができます。表 2-1 は、ルータの LED の説明です。

表 2-1. LED の説明

ラベル	状態	説明
 電源 (Power)	点灯 消灯	電力がルータに供給されています。 電力がルータに供給されていません。
 インターネット (Internet)	点灯 点滅	インターネット・ポートと外部モデムとのリンクが確立されています。 インターネット・ポートでデータの送受信が行われています。
 ワイヤレス (Wireless)	点灯 消灯	ワイヤレスが有効です。 ワイヤレスが無効です。または機能していません。
 LAN	点灯(緑) 点滅(緑) 点灯(黄色) 点滅(黄色) 消灯	LAN ポートと 100 Mbps 機器とのリンクが確立されています。 100 Mbps でデータの送受信が行われています。 LAN ポートと 10 Mbps 機器とのリンクが確立されています。 10 Mbps でデータの送受信が行われています。 リンクが検出されていません。

ルータの後部パネル

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータの後部パネルには、以下のものが装備されています。



図 2-2: WGT634U ワイヤレス・ルータの後部パネル

後部パネルに向かって左から右に以下のものが装備されています。

- AC アダプタの差込口
- ローカル PC を接続するための 10/100 Mbps Ethernet ポート(4 ポート)
- ケーブル/DSL モデムを接続するためのインターネット(WAN) Ethernet ポート
- USB ドライブを接続するための USB ポート
- 工場出荷時設定へのリセット・ボタン
- ワイヤレス・アンテナ

本書で必要な情報を得るためのロードマップ

このセクションでは、以下の項目に関して、本書で必要な情報を得るための手順を示します。

- ワイヤレス・ネットワークを設定する。
- ハッカーや情報漏洩からワイヤレス接続を保護する。
- 家族や友人と、インターネットを介して写真やファイルを共有する。
- ワイヤレスおよび有線接続のネットワークでプリンタを使用する。

表 2-2: 必要な情報を得るためのロードマップ

やりたいことは？	そのためには？	必要なものは？	その情報は？
ワイヤレス・ネットワークを設定する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. WGT634U を設定します。 2. ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID)、およびワイヤレス・セキュリティ設定を確認します。 3. ワイヤレス・コンピュータを設定します。 	<ul style="list-style-type: none"> • ワイヤレス・ネットワーク • ワイヤレス・ネットワークの動作範囲内にある PC。設置場所のガイドラインについては、4-1 ページの“パフォーマンス、設置場所、接続範囲のガイドライン”を参照してください。 	WGT634U を設定するには、第 3 章“ルータをインターネットに接続する”を参照してください。
ハッカーや情報漏洩からワイヤレス接続を保護する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワイヤレス・ネットワークでセキュリティ機能が有効であることを確認します。 2. WGT634U のセキュリティ設定を行います。 3. Windows のセキュリティ機能を使用します。 	<ul style="list-style-type: none"> • WEP セキュリティを使用するワイヤレス・ネットワーク • WEP セキュリティをサポートするワイヤレス・ネットワーク機器 	WEP セキュリティを設定するには、第 4 章“ワイヤレス設定”を参照してください。

表 2-2: 必要な情報を得るためのロードマップ

やりたいことは？	そのためには？	必要なものは？	その情報は？
家族や友人と、インターネットを介して写真やファイルを共有する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. WGT634U に接続した USB ドライブを設定します。 2. ローカルのユーザに対して、USB ドライブのファイルにアクセスする方法を教えます。(5-11 ページ “ローカル WEB ブラウザから USB ドライブに接続する” を参照してください。) 3. リモートのユーザに対して、USB ドライブのファイルにアクセスする方法を教えます。(5-11 ページ “リモート・コンピュータから USB ドライブに接続する” を参照してください。) 	USB ドライブ	USB ドライブを設定するには、第 5 章 “USB ドライブをルータに接続する” を参照してください。

表 2-2: 必要な情報を得るためのロードマップ

やりたいことは？	そのためには？	必要なものは？	その情報は？
ワイヤレスおよび有線接続のネットワークでプリンタを共有する。	<p>1. Windows の“プリンタとファックス”(または“プリンタ”)で、ネットワークで利用できるプリンタを見つけます。</p> <p>2. Windows のプリンタの追加ウィザードで、ワイヤレス接続の PC からアクセスできるネットワーク・プリンタを追加します。</p> <p>3. Microsoft Word のようなアプリケーションのファイル・メニューから印刷するとき、ネットワークで利用できるプリンタを出力先に指定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ワイヤレス・ネットワークに接続している PC は、Windows クラウドで、プリンタとファイルの共有設定がされている必要があります。 • ワイヤレス・ネットワークに接続している PC は、同じ Windows ワークグループ、またはドメインに属している必要があります。 • Windows ネットワークで割り当てられた、または特定のファイルを共有するために割り当てられたログイン名やパスワードは、Windows が要求した場合は入力する必要があります。 • Windows のピアツーピア・ネットワークでは、プリンタを共有するために共有設定を有効にする必要があります。 	<p>会社でご利用の場合、Windows ワークグループやドメインの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。</p> <p>Windows でプリンタを設定する方法については、Windows オペレーティング・システムのヘルプやサポート情報を参照してください。</p>

第 3 章 ルータをインターネットに接続する

この章では、ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) で NETGEAR 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U を設定し、インターネットに接続する方法を説明します。
インターネット接続のために WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータを設定するには、セットアップ・ウィザードを使う方法と、手動で設定する方法があります。

準備

設定を始める前に、以下のものを準備してください。

1. ケーブル/DSL モデムで接続するブロードバンド・インターネット・サービスのアカウント
2. インターネット・サービス・プロバイダ (ISP) の設定情報
3. ルータをケーブル/DSL モデムとコンピュータに接続する。(これは本章の“WGT634U をインターネットに接続する”で説明します。)

ケーブル配線とコンピュータ・ハードウェアの要件

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータを使うには、各コンピュータで Ethernet ネットワーク・インタフェース・カード (NIC) と Ethernet ケーブルを備えていなければなりません。コンピュータが 100 Mbps でネットワークに接続できる場合は、カテゴリ 5 (Cat 5) ケーブルを使用しなければなりません。ケーブル/DSL モデムは、10 Mbps (10BASE-T) または 100 Mbps (100BASE-TX) Ethernet インタフェースを備えていなければなりません。

コンピュータ・ネットワークの要件

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータには、Web 設定インタフェースが組み込まれています。WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータの設定インタフェースにアクセスするためには、HTTP アップロードをサポートし、Java が使える Web ブラウザ (Internet Explorer または Netscape Navigator) を使用します。

ルータを初めて設定するときは、コンピュータとルータとを接続する必要があります。このコンピュータは、DHCP によってルータから自動的に TCP/IP 設定を取得できるように設定されていなければなりません。

インターネット設定の要件

ルータをインターネットに接続するために、以下のような設定パラメータを必要とします。必要な情報はご利用の ISP により異なりますので、ISP から提供された情報を必ずご確認ください。

- ホスト名、ドメイン名
- ISP のログイン名とパスワード
- ISP のドメイン・ネーム・サーバ (DNS) アドレス
- 固定 (静的) IP アドレス

インターネット設定パラメータの入手

インターネット接続情報を知るには、いくつかの方法があります。

- ISP がインターネットに接続するために必要な情報をすべて提供します。この情報が ISP から届いていないときは ISP にお問い合わせください。
- ルータを使わずにインターネットに接続しているコンピュータをお持ちの場合は、そのコンピュータから接続情報を知ることができます。
 - Windows 98/Me - コントロール パネルのネットワークで、使用しているアダプタの TCP/IP エントリを選択し、[プロパティ] をクリックしてください。各タブ・ページの情報を記録してください。
 - Windows 2000/XP - ローカル・エリア接続のプロパティで、インターネット プロトコル (TCP/IP) を選択し、[プロパティ] をクリックしてください。各タブ・ページの情報を記録してください。
 - Macintosh - コントロール パネルの [TCP/IP]、またはシステム環境設定の [ネットワーク] を開いてください。ここで表示される情報を記録してください。

インターネット接続情報を記録する

まず、このページを印刷してください。

インターネット・サービス・プロバイダ (ISP) の設定パラメータをここに転記してください。

ISP ログイン名 (認証 ID、ユーザ名): ISP から提供されたログイン名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。サービス名は ISP が提供している場合にのみ必要です。

ログイン名: _____

パスワード: _____

サービス名: _____

固定 (静的) IP アドレス: 固定 (静的) IP アドレスがある場合は以下の情報を記入してください。

固定 (静的) インターネット IP アドレス: _____

ゲートウェイ IP アドレス: _____

サブネット・マスク: _____

ISP の DNS サーバ・アドレス: DNS サーバ・アドレスを入手している場合は以下に記入してください:

プライマリ DNS サーバ IP アドレス: _____

セカンダリ DNS サーバ IP アドレス: _____

ホスト名、ドメイン名: ISP がホスト名、ドメイン名を提供している場合は以下に記入してください。ホスト名は、アカウント名、ユーザ名、システム名と呼ばれることがあります。

ISP ホスト名: _____

ISP ドメイン名: _____

ワイヤレス・アクセス: ワイヤレス・ネットワークの設定のために以下を記入してください:

ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID): _____

暗号化 (どちらかに○): 64 ビット、または 128 ビット

WEP パスフレーズ、または WEP キー: _____

WPA-PSK パスフレーズ: _____

WGT634U をインターネットに接続する

このセクションでは、NETGEAR 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U をインターネットに接続する方法を説明します。

1. ワイヤレス・ルータをネットワークに接続する

- a. コンピュータの電源を切ってください。
- b. ケーブル/DSL モデムの電源を切ってください。
- c. ケーブル/DSL モデムに接続している Ethernet ケーブル (ケーブル 1) をコンピュータ(A)から外します。

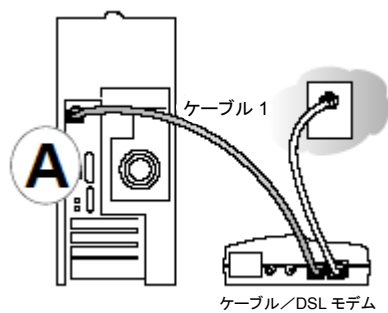


図 3-1: コンピュータから Ethernet ケーブルを外す

- d. ケーブル/DSL モデムからの Ethernet ケーブル (ケーブル 1) を、WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータのインターネット・ポート(B)に接続してください。

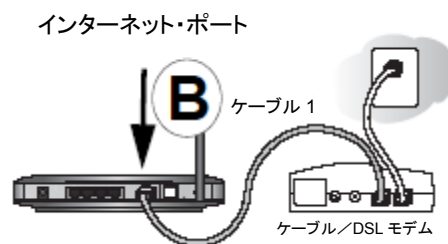


図 3-2: Ethernet ケーブルをルータに接続する

- e. ルータの LAN ポート(C)とコンピュータ(D)を Ethernet ケーブル(ケーブル 2)で接続してください。

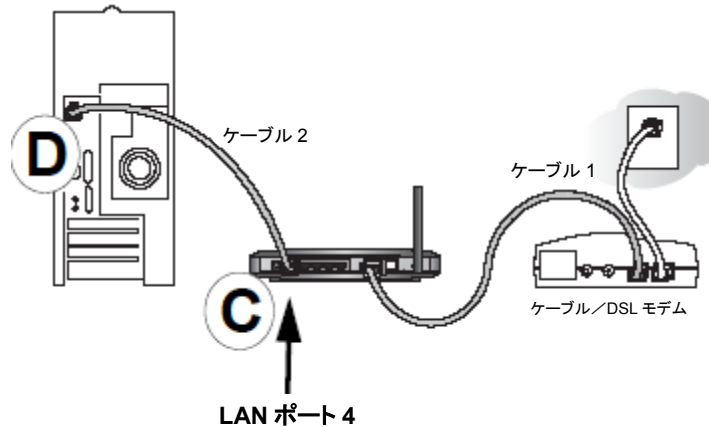


図 3-3: コンピュータとルータを接続する



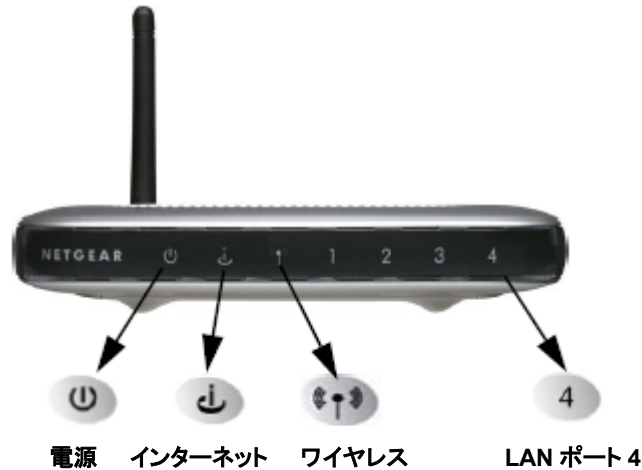
メモ: 付属のスタンドを使用すると、WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータを縦置きにすることができます。WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータの上に USB ドライブなどの他の電子機器を積み重ねないようにしてください。

2. 正しい順序でネットワークを再起動する

警告: 正しい順序でネットワークを再起動しない場合、インターネットに接続できないことがあります。

- 最初にケーブル/DSL モデムの電源を入れ、動作可能な状態にまで待ちます。(約 2 分)
- ワイヤレス・ルータに AC アダプタを接続し、ルータの電源を入れてください。そして約 2 分待ちます。
- 最後に、コンピュータの電源を入れてください。

メモ: インターネットに接続するためにソフトウェアを実行しログインしている場合は、そのソフトウェアを実行しないでください。そのソフトウェアが自動的に開始した場合はキャンセルしてください。



ステータス LED で以下のことを確認してください。

- **電源 (Power):** ワイヤレス・ルータの電源を入れると電源 LED が点滅し、その後点灯します。電源を入れて約 2 分経っても LED が点滅し続ける場合は、リセット・ボタンでルータをリセットしてみてください。
- **インターネット (Internet):** ワイヤレス・ルータのインターネット LED が点灯します。インターネット LED が点灯しない場合は、Ethernet ケーブルがワイヤレス・ルータのインターネット・ポートとモデムに正しく接続されているかどうか確認してください。
- **ワイヤレス (Wireless):** ワイヤレス LED が点灯します。ワイヤレス LAN を無効にしたときは、LED は点灯しません。ワイヤレス LAN が有効でワイヤレス LED が点灯しない場合は、リセット・ボタンでルータをリセットしてみてください。
- **LAN:** LAN LED が点灯します。緑はコンピュータが 100Mbps で接続されていることを示します。黄色の場合は 10Mbps で接続されています。LAN LED が点灯しない場合は、Ethernet ケーブルがルータとコンピュータに正しく接続されているかどうか確認してください。

3. ルータにログインする

- a. Internet Explorer または Netscape Navigator のアドレス・フィールドで、**http://192.168.1.1** と入力しルータへ接続してください。

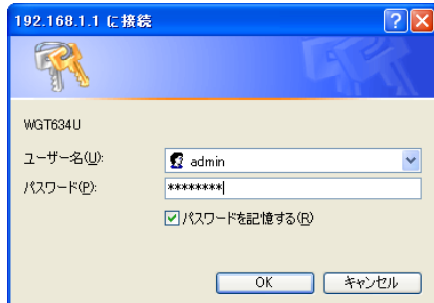


図 3-4: ログイン・ウィンドウ

- b. セキュリティのために、ルータにはユーザ名とパスワードが設定されています。ルータのユーザ名“**admin**”、パスワード“**password**”を入力してください。(どちらも小文字)

メモ: ルータのユーザ名とパスワードは、ISP のユーザ名、パスワードではありません。

- c. ルータにログインすると、ファームウェア・アップグレードをするかどうか指示が出ます。[いいえ]をクリックしてファームウェア・アップグレードをスキップしてください。セットアップ・ウィザードを使ってインターネットに接続します。

4. セットアップ・ウィザードでインターネットへ接続する

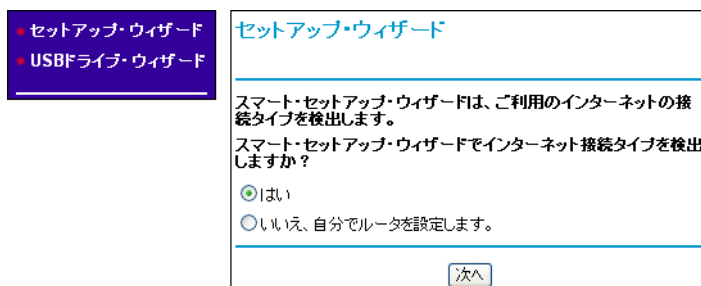


図 3-5: セットアップ・ウィザード

- a. 上のような画面が表示されないときは、メイン・メニューの [セットアップ・ウィザード] をクリックしてください。
- b. [はい] を選択するとインターネット接続タイプを自動的に検出します。[次へ] をクリックしセットアップ・ウィザードの指示に従って進んでください。インターネットに接続するための設定パラメータを入力します。

- c. ルータがインターネット接続を検出すると、ルータのインターネット LED が点灯します。スマート・セットアップ・ウィザードはインターネットの接続タイプを表示し、続いてその設定画面を表示します。スマート・セットアップ・ウィザードがインターネット接続を検出できない場合は、ルータとケーブル/DSL モデム間の接続を確認してください。
- ログインを必要とする接続 (PPPoE、PPTP など)
 - 動的 IP アドレスが割り当てられる接続
 - 固定 IP アドレスが割り当てられる接続
- 各接続タイプの設定は、次のセクションで説明します。
- d. インターネットに接続できることを確認するために **[テスト]** をクリックしてください。

5. 最新のファームウェア・バージョンをチェックする

ルータがインターネット・サービスを検出したとき、インターネットでファームウェアの新しいバージョンが利用できるかどうかを確認することができます。新しいバージョンを検出すると、ファームウェアをアップグレードするようメッセージが表示されます。この機能によって、ワイヤレス・ルータを、常に最新の状態に保つことができます。

メニューからファームウェア・アップグレードを実行する場合は、メイン・メニューのメンテナンス [アップグレード] をクリックしてください。詳細は、7-5 ページの“ルータ・ソフトウェアのアップグレード”を参照してください。

メモ: WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータにソフトウェアをアップロードしている間は、Web ブラウザを閉じたり、リンクをクリックしたり、新しいページを表示したりしないでください。ブラウザに割り込みがあると、ソフトウェアが正しくアップロードできないことがあります。アップロードが終了すると、ルータは自動的に再起動します。アップグレードには通常約 1 分かかります。

ワイヤレス接続の基本設定

インターネットに接続できた後は、基本的なワイヤレス設定を行ってください。

1. WGT634U のワイヤレス設定

ルータを使用する地域(国)を選択してください。他の設定は変えないでください。

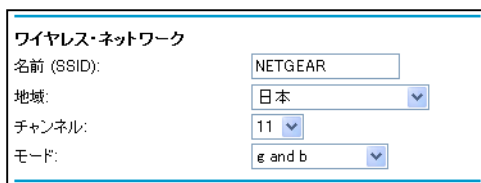


図 3-6: 地域を選択

2. ワイヤレス・アダプタの設定

項目	デフォルト設定
ネットワーク名 (SSID)	NETGEAR
WEP セキュリティ	無効

ワイヤレス・アダプタを装備したコンピュータで、ルータの設定と同じワイヤレス設定を行います。

警告: ネットワーク名 (SSID) では大文字と小文字は区別されます。“NETGEAR”と“nETgear”は別の SSID です。

3. ワイヤレス接続の確認

インターネットに接続する、またはワイヤレス・ルータへログインすることにより、ワイヤレス接続性を確認してください。

これで、ワイヤレスでインターネットに接続することができました。次に第 4 章“ワイヤレス設定”を参考に、ワイヤレスのセキュリティ設定を行ってください。

基本設定のトラブルシューティングのヒント

インターネットやルータに接続できない場合は、ここにあるいくつかの問題解決のヒントを参考にしてください。

コンピュータとルータのワイヤレス設定が一致していることを確認してください。

ルータとコンピュータで、ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) および WEP 設定は一致しなければなりません。

正しい順序でネットワークを再起動してください。

次の順序で再起動してください。モデム、ルータ、コンピュータの電源を切ります。最初にモデムの電源を入れ、動作可能な状態になるまで待ちます。続いて、ルータ、コンピュータの順番で電源を入れます。

Ethernet ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。

- 電源の入ったコンピュータからルータへの Ethernet ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。対応するルータの LAN ポートの LED が点灯します。ルータの底面にあるラベルには、LAN ポートのポート番号が記載されています。
- ルータからモデムへの Ethernet ケーブルが確実に接続されていること、およびモデムとルータの電源が入っていることを確認してください。ルータのインターネット LED が点灯します。

ネットワークの設定が正しいことを確認してください。

- LAN およびワイヤレスで接続されたコンピュータは、DHCP で自動的に IP アドレスを取得するように設定しなければなりません。
- ケーブル・インターネットでは、コンピュータの MAC アドレスをルータに設定する必要がある場合があります。この場合は、基本設定のルータ MAC アドレスで [このコンピュータの MAC アドレスを使う] を選択します。ルータは、コンピュータの MAC アドレスをルータに設定します。コンピュータは、あらかじめプロバイダに登録されているものでなければなりません。設定を保存するために、適用をクリックしてください。正しい順序でネットワークを再起動してください。

スマート・ウィザード・オプションを理解する

ここではスマート・ウィザードの検出オプションについて説明します。

PPPoE スマート・ウィザード検出オプション

スマート・セットアップ・ウィザードが PPPoE を検出すると、以下のような画面が表示されます。

図 3-7: PPPoE のためのスマート・セットアップ・ウィザード画面

- ログイン名、パスワードを入力してください。これらのフィールドは、大文字と小文字が区別されます。
メモ: インターネットにアクセスするために、PC で ISP のログイン・プログラムを実行する必要はありません。インターネット・アプリケーションをスタートすると、ルータが PC に代わって自動的にログインします。
- ISP がサービス名を提供している場合はここに入力します。それ以外は空白のままにしておきます。
- アイドル・タイムアウトを変更する場合は、新しい値(分)を入力してください。この値は、LAN からインターネットへの通信がないとき、ルータがインターネット接続を切断するまでの時間を決定します。この値をゼロ(0)に設定すると常時接続となり、中断された場合でも再接続されます。
- 設定を保存するために [適用] をクリックしてください。
- インターネットに接続できることを確認するために [テスト] をクリックしてください。NETGEAR の Web サイトが表示されない場合は、[第 9 章“トラブルシューティング”](#)を参照してください。

必要ならば基本設定画面で DNS アドレスを設定してください。

- ISP が自動的に DNS アドレスをルータに提供しない場合は、[これらの DNS サーバを使う] を選択し、プライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力してください。セカンダリ DNS サーバ・アドレスがあるときは、その IP アドレスも入力してください。

メモ: DNS アドレスを入力した場合は、設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

PPTP スマート・ウィザード検出オプション

スマート・セットアップ・ウィザードが PPTP を検出すると、以下のような画面が表示されます。

図 3-8: PPTP のためのスマート・セットアップ・ウィザード画面

- ログイン名、パスワードを入力してください。これらのフィールドは、大文字と小文字が区別されます。
メモ: インターネットにアクセスするために、PC で ISP のログイン・プログラムを実行する必要はありません。インターネット・アプリケーションをスタートすると、ルータが PC に代わって自動的にログインします。
- アイドル・タイムアウトを変更する場合は、新しい値(分)を入力してください。この値は、LAN からインターネットへの通信がないとき、ルータがインターネット接続を切断するまでの時間を決定します。この値をゼロ(0)に設定すると常時接続となり、中断された場合でも再接続されます。
- 自 IP アドレス — ISP が固定 IP アドレスを提供している場合はここに入力します。それ以外は 0.0.0.0 にしておき、接続時に ISP から IP アドレスを取得します。
- サーバ IP アドレス — ISP がサーバ IP アドレスを提供している場合はここに入力します。それ以外は 0.0.0.0 にしておき、接続時に ISP から IP アドレスを取得します。

- 接続 ID/名前 – ISP が接続 ID を提供している場合はここに入力します。
- ISP が自動的に DNS アドレスをルータに提供しない場合は、[これらの DNS サーバを使う] を選択し、プライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力してください。セカンダリ DNS サーバ・アドレスがあるときは、その IP アドレスも入力してください。

メモ: DNS アドレスを入力した場合は、設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

- ルータ MAC アドレス:ルータのインターネット・ポートの MAC アドレスを決定します。一部の ISP では、契約時に PC のネットワーク・インタフェース・カードの MAC アドレスを登録します。この ISP は、登録した MAC アドレスの PC からのトラフィックをだけを受け付けます。この機能では、ルータに PC の MAC アドレスを設定することにより、ルータが PC になりすますことを可能にします。

MAC アドレスを変更するには、[コンピュータの MAC アドレスを使う] を選択してください。ルータは、お使いの PC の MAC アドレスを自身の MAC アドレスに設定します。この場合の PC は、ISP に登録した PC でなければなりません。別の PC からルータを操作している場合は、[この MAC アドレスを使う] を選択して MAC アドレスを入力してください。

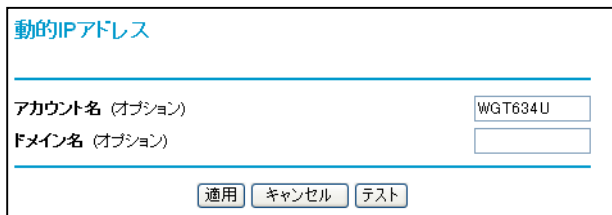
- 設定を保存するために [適用] をクリックしてください。
- インターネットに接続できることを確認するために [テスト] をクリックしてください。NETGEAR の Web サイトが表示されない場合は、[第 9 章“トラブルシューティング”](#)を参照してください。

Telstra BigPond スマート・ウィザード検出オプション

Telstra BigPond はオーストラリアのインターネット接続サービスです。設定についてお知りになりたい方は、WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータの Web 設定インタフェースで“ヘルプ”を参照してください。

動的 IP スマート・ウィザード検出オプション

スマート・セットアップ・ウィザードが動的 IP を検出すると、以下のような画面が表示されます。



動的IPアドレス

アカウント名 (オプション)

ドメイン名 (オプション)

図 3-9: 動的 IP アドレスのためのスマート・セットアップ・ウィザード画面

- アカウント名 (ホスト名) とドメイン名を入力してください。ドメイン名フィールドを空白にしておくと、ルータがドメインを捜します。もしくは、手動で入力してください。
- ISP が自動的に DNS アドレスをルータに提供しない場合は、[これらの DNS サーバを使う] を選択し、プライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力してください。セカンダリ DNS サーバ・アドレスがあるときは、その IP アドレスも入力してください。
- 設定を保存するために [適用] をクリックしてください。
- インターネットに接続できることを確認するために [テスト] をクリックしてください。NETGEAR の Web サイトが表示されない場合は、[第 9 章“トラブルシューティング”](#)を参照してください。

固定 IP ウィザード検出オプション

スマート・セットアップ・ウィザードが固定 IP を検出すると、以下のような画面が表示されます。

固定IP

インターネットIPアドレス

IPアドレス

IPサブネット・マスク

ゲートウェイIPアドレス

ドメイン・ネーム・サーバ (DNS) アドレス

プライマリDNS

セカンダリDNS

図 3-10: 固定 IP アドレスのためのスマート・セットアップ・ウィザード画面

- 固定 IP は静的 IP とも呼ばれます。割り当てられた IP アドレス、サブネット・マスク、および ISP のゲートウェイ・ルータの IP アドレスを入力してください。
- ISP のプライマリおよびセカンダリ DNS サーバ・アドレスを入力してください。
メモ: これらの設定を有効にするために、コンピュータを再起動してください。
- 設定を保存するために [適用] をクリックしてください。
- インターネットに接続できることを確認するために [テスト] をクリックしてください。NETGEAR の Web サイトが表示されない場合は、[第 9 章“トラブルシューティング”](#)を参照してください。

インターネット接続の手動設定

以下の画面でルータを手動で設定することができます。

ISP はログインを必要としない

基本設定

お使いのインターネット接続はログインを必要としますか？

はい

いいえ

アカウント名 (オプション)

ドメイン名 (オプション)

インターネットIPアドレス

プロバイダから自動的に取得

静的IPアドレスを使う

IPアドレス

IPサブネット・マスク

ゲートウェイIPアドレス

ドメイン・ネーム・サーバ (DNS) アドレス

プロバイダから自動的に取得

これらのDNSサーバを使う

プライマリDNS

セカンダリDNS

ルータMACアドレス

デフォルトのMACアドレスを使う

このコンピュータのMACアドレスを使う

このMACアドレスを使う

ISP はログインを必要とする

基本設定

お使いのインターネット接続はログインを必要としますか？

はい

いいえ

インターネット・サービス・プロバイダ

ログイン

パスワード

サービス名 (オプション)

アイドル・タイムアウト (分)

ドメイン・ネーム・サーバ (DNS) アドレス

プロバイダから自動的に取得

これらのDNSサーバを使う

プライマリDNS

セカンダリDNS

図 3-11: 基本設定画面

図 3-11 で示される基本設定画面で、ルータを手動で設定することができます。

1. メイン・メニューで [基本設定] をクリックしてください。
2. インターネット接続がログインを必要としない場合は、[いいえ] をクリックして以下の指示に従って設定してください。インターネット接続がログインを必要とする場合は、[はい] をクリックしてステップ 3 に進んでください。
 - a. アカウント名 (ホスト名) とドメイン名を入力してください。
 - b. インターネット IP アドレス

固定 (静的) IP アドレスがある場合は、[静的 IP アドレスを使用] を選択してください。ISP が割り当てた IP アドレスを入力してください。また、ネットマスクとゲートウェイ IP アドレスも入力してく

ださい。ゲートウェイはルータが接続する ISP のルータです。

c. ドメイン・ネーム・サーバ (DNS) アドレス

ISP が自動的に DNS アドレスをルータに提供しない場合は、[これらの DNS サーバを使う] を選択し、プライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力してください。セカンダリ DNS サーバ・アドレスがあるときは、その IP アドレスも入力してください。

メモ: これらの設定を有効にするために、コンピュータを再起動してください。

d. ルータ MAC アドレス:

ルータのインターネット・ポートの MAC アドレスを決定します。一部の ISP では、契約時に PC のネットワーク・インタフェース・カードの MAC アドレスを登録します。この ISP は、登録した MAC アドレスの PC からのトラフィックをだけを受け付けます。この機能では、ルータに PC の MAC アドレスを設定することにより、ルータが PC になりますことを可能にします。

MAC アドレスを変更するには、[コンピュータの MAC アドレスを使う] を選択してください。ルータは、お使いの PC の MAC アドレスを自身の MAC アドレスに設定します。この場合の PC は、ISP に登録した PC でなければなりません。別の PC からルータを操作している場合は、[この MAC アドレスを使う] を選択して MAC アドレスを入力してください。

e. 設定を保存するために [適用] をクリックしてください。

3. インターネット接続がログインを必要とするならば、以下の指示に従って設定してください。インターネットにアクセスするためにログイン・プログラムを実行している場合は、[はい] を選択してください。

メモ: ルータの設定が完了すれば、インターネットにアクセスするために ISP のログイン・プログラムを PC で実行する必要はありません。インターネット・アプリケーションを開始すると、ルータは自動的に ISP にログインします。

a. ドロップダウン・リストから ISP の接続タイプを選択してください。

インターネット・サービス・プロバイダ	PPP0E
ログイン	PPP0E PPTP Telstra Bigpond

図 3-12: ISP 接続タイプの選択

- b. 選択した ISP 接続タイプにより画面が変わります。
- c. ISP の設定パラメータを入力してください。
- d. 設定を保存するために [適用] をクリックしてください。

第 4 章 ワイヤレス設定

この章では、NETGEAR 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U のワイヤレス機能の設定方法を説明します。

パフォーマンス、設置場所、接続範囲のガイドライン

ワイヤレス接続の距離または範囲は、ルータの設置場所によって大きく異なります。



メモ: これらのガイドラインに沿って設置しない場合は、パフォーマンスが低下したり、接続できないことがあります。

最適な性能を得るために、ルータを以下のように設置してください。

- コンピュータを使用しているエリアの中央付近
- 棚の上などの高い場所
- 電子レンジ、コードレス電話など、干渉源となる可能性のある機器から離れた場所
- 大きな金属面から離れた場所

ワイヤレス接続の確立に必要な時間は、ルータのセキュリティ設定と設置場所により異なります。

WEPを設定すると、接続の確立までの時間がやや長くなります。また、WEP暗号化はノートブックPCのバッテリーをより多く消費します。

適切なワイヤレス・セキュリティの導入

有線ネットワーク上のデータと違い、ワイヤレスのデータ伝送は、壁の向こう側でも互換性のあるアダプタがあれば、容易に受信することができます。このため、ワイヤレス機器ではセキュリティの設定が重要です。WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは、非常に効果的なセキュリティ機能を提供します。

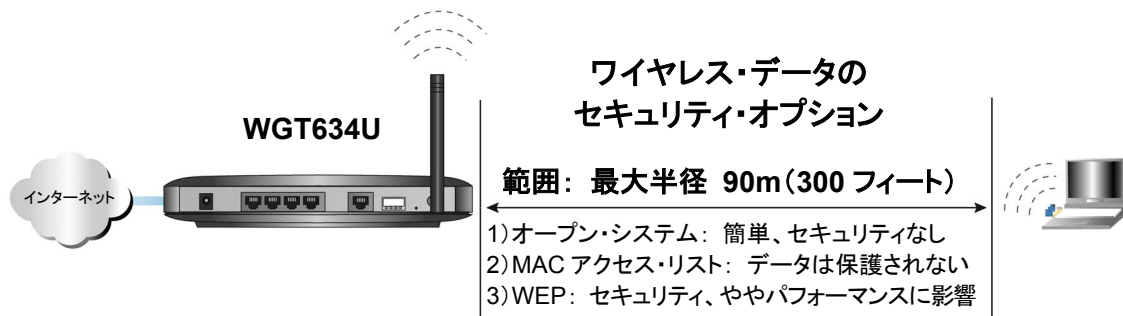


図 4-1: ワイヤレス・データのセキュリティ・オプション

ワイヤレス・ネットワークのセキュリティを強化するには、いくつかの方法があります。

- **MAC アドレスに基づきアクセスを制限**
 未知の PC がワイヤレスで WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータに接続できないようにするため、信頼できる PC だけにアクセスを制限することができます。MAC アドレス・フィルタは、未知の PC がネットワークへアクセスすることを阻止します。しかし、ワイヤレス・リンク上のデータは完全に公開されています。
- **ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) のブロードキャストを無効にする**
 SSID のブロードキャストを止めることにより、正しい SSID を設定したデバイスだけが接続することができます。これは、Windows XP などサポートされているワイヤレス・ネットワークを探す機能を無効にします。しかし、データは完全に公開されており、専用のテスト機器を使えばデータを読み取られる可能性があります。
- **WEP**
 WEP(Wired Equivalent Privacy)データ暗号化はデータのセキュリティを提供します。
 WEP 共有キー認証と WEP データ暗号化はデータの盗聴から保護します。
- **WPA-PSK**
 WPA-PSK(Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key) データ暗号化は、WEP データ暗号化を補強しセキュリティ強度を向上させています。

- **ワイヤレス LAN を無効にする**

ワイヤレス LAN を無効にすると、ワイヤレス・デバイスはルータと通信することができません。ワイヤレスのユーザが不在のとき、他のすべてのユーザが有線接続である場合は、ワイヤレス LAN を無効にします。

ワイヤレス設定を理解する

WGT634U のワイヤレス設定を行うには、メイン・メニューで [ワイヤレス設定] をクリックしてください。以下に示すような、ワイヤレス設定画面が表示されます。

図 4-2: ワイヤレス設定画面

802.11b と 802.11g のワイヤレス設定方法はまったく同じです。

- **名前 (SSID):** SSID は、ワイヤレス・ネットワーク名とも呼ばれます。最大 32 文字の英数字を入力してください。複数のワイヤレス・ネットワークがある場所では、異なるワイヤレス・ネットワーク名によりトラフィックを分離することができます。同じワイヤレス・ネットワークに接続するすべてデバイスで、同じ SSID を設定する必要があります。WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータのデフォルト SSID は、“NETGEAR”です。
- **地域:** このフィールドは、WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータを使用する地域を指定します。
- **モード:** このフィールドは、どのワイヤレス仕様を使うかを決定します。“g only”、“b only”、または“g and b”から選択することができます。
 - “g only”を選択すると、WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは 802.11g ワイヤレス・デバイスだけと通信することができます。

- “b only”を選択すると、WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは 802.11b ワイヤレス・デバイスだけと通信することができます。
- “g and b”を選択すると、802.11g だけでなく 802.11b ワイヤレス・デバイスも通信することができます。
- **チャンネル:** このフィールドは、どの周波数を使用するかを決定します。近くの他のアクセス・ポイントと干渉が発生しない限り、ワイヤレス・チャンネルを変更する必要はありません。

WEP 認証と暗号化を理解する

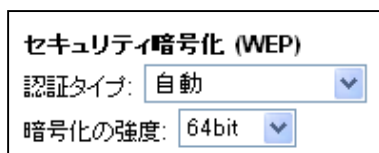
ワイヤレス・アクセスを制限することにより、侵入者がネットワークに接続するのを防ぎます。しかし、ワイヤレス・データはまだ盗聴される可能性があります。WEP データ暗号化によって、侵入者がワイヤレス・データを盗聴するのを防ぎます。

セキュリティ・オプションの選択

WEP 暗号化、WPA-PSK 暗号化のどちらを使用するかを選択します。

- **無効:** 暗号化は適用されません。この設定では、ワイヤレス・データは完全に公開されています。
- **WEP (Wired Equivalent Privacy):** 64 ビット、または 128 ビット WEP 暗号化
- **WPA-PSK (Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key):** WPA-PSK 暗号化

認証方式の選択



セキュリティ暗号化 (WEP)
認証タイプ: 自動
暗号化の強度: 64bit

図 4-3: WEP 認証と暗号化強度

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータでは、以下のワイヤレス認証方式が選択できます。

- **自動** — ルータは適切な認証方式を検出します。
- **オープン・システム** — その SSID がアクセス・ポイントの SSID と一致するすべてのデバイスがネットワークに参加することができます。
- **共有キー** — 正しい認証キーを持つコンピュータだけがネットワークに参加することができます。



メモ：認証方式とデータ暗号化は別のものです。認証方式で共有キーを選択しただけでは、まだデータは暗号化されません。完全なセキュリティ設定を行うには、共有キーと WEP 暗号化の両方を設定する必要があります。

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータで選択した認証方式と同じ認証方式をワイヤレス・アダプタでも設定してください。

暗号化強度の選択

WEP を有効にした場合、手動または自動で 4 つのデータ暗号化キーを設定することができます。これらの値は、ネットワークのすべての PC とアクセス・ポイントで同一でなければなりません。

WEP 暗号化キーを作成するには 2 つの方法があります。

- **パスフレーズ：** パスフレーズ・ボックスに印刷できる単語、文字列を入力して [生成] ボタンをクリックしてください。大文字と小文字は区別されます。
- **手動入力：**
64 ビット WEP では、10 桁の 16 進数 (0-9, a-f, A-F) を入力してください。
128 ビット WEP では、26 桁の 16 進数 (0-9, a-f, A-F) を入力してください。
大文字と小文字の区別はありません。

工場出荷時のデフォルト設定

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータの工場出荷時のデフォルト設定は以下のとおりです。
WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータの後部パネルにあるリセット・ボタンで、デフォルト設定に戻すことができます。

項目	デフォルト設定
ワイヤレス・アクセス・ポイント	有効
ワイヤレス・アクセス・リスト	すべてのワイヤレス・ステーションを許可
SSID ブロードキャスト	有効
SSID	NETGEAR
11b/g RF チャンネル	11
モード	g and b
認証タイプ	自動
セキュリティ・オプション	無効

SSID と WEP 設定を変更する前に

ワイヤレス設定を変更する前に、このページを印刷して以下の情報を記録してください。既存のワイヤレス・ネットワークで使用する場合は、ネットワーク管理者からこれらの情報を入手してください。

- **ネットワーク名 (SSID) :** SSID (サービス・セット識別子) は、ワイヤレス・ネットワークの識別名です。最大 32 文字の英数字を使用することができます。SSID を以下に記録してください。

名前 (SSID) : _____

メモ: ワイヤレス・ルータの SSID は、ワイヤレス・アダプタ・カードの SSID と同じです。アクセス・ポイントとワイヤレス・ノードには、同じ SSID を設定しなければなりません。

- **認証:** 認証の設定 (オープン・システム、または共有キー) は、暗号化とは別のものです。オープン・システム、または共有キーのどちらかを で囲んでください。

オープン・システム、または 共有キー

メモ: 共有キーを選択した場合、ネットワークの他のデバイスも共有キーを選択する必要があります。

- **WEP 暗号化の強度:** キーのサイズを選択してください。 (で囲む)

64 ビット、または 128 ビット

- **WEP 暗号化キー:** WEP 暗号化キーを作成するには 2 つの方法があります。

a. **パズフレーズ:** _____

パズフレーズ・ボックスに印刷できる単語、文字列を入力してください。大文字と小文字は区別されません。[生成] ボタンをクリックすると、キーが生成されます。

b. **手動入力:**

64 ビット WEP では、10 桁の 16 進数 (0-9, a-f, A-F) を入力してください。

128 ビット WEP では、26 桁の 16 進数 (0-9, a-f, A-F) を入力してください。

大文字と小文字の区別はありません。

キーの値を以下に記録してください。

キー1: _____

キー2: _____

キー3: _____

キー4: _____

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータを設定するためには、次のセクションを参照してください。この情報は安全な場所に保管しておいてください。

ワイヤレス接続の設定とテスト

ワイヤレス接続の設定とテストについては、以下の指示に従ってください。
ワイヤレスの接続が確認できた後で、セキュリティの設定を行ってください。

1. WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータにログインしてください。(デフォルトの LAN アドレス: *http://192.168.1.1*、ユーザ名: **admin**、パスワード: **password**) もし、LAN アドレスやパスワードを変更した場合はそれを使用してください。
2. WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータのメイン・メニューのセットアップ [ワイヤレス設定] をクリックしてください。

ワイヤレス設定

ワイヤレス・ネットワーク

名前 (SSID): NETGEAR

地域: --- 地域を選択 ---

チャンネル: 11

モード: g and b

セキュリティ・オプション

無効

WEP (Wired Equivalent Privacy)

WPA-PSK (Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key)


図 4-4: ワイヤレス設定画面

3. ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID)を入力してください。SSID には最大 32 文字の英数字を使用することができます。デフォルトの SSID は“NETGEAR”です。

メモ: ワイヤレス・アダプタの SSID は、NETGEAR 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U の SSID と一致しなければなりません。一致しない場合は、WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータへワイヤレス接続できません。

4. 地域を選択してください。ワイヤレス・ネットワークを使用する地域を選択してください。
5. モードを選択してください。デフォルトは“g and b”です。
6. チャンネルを選択してください。デフォルトのチャンネルは“11”です。このフィールドは、どの周波数を使用するかを決定します。近くの他のアクセス・ポイントと干渉が発生しない限り、ワイヤレス・チャンネルを変更する必要はありません。変更する場合は、近くのどのワイヤレス・ネットワークでも使われていないチャンネルを選択してください。

7. 初めて設定しテストするときは、暗号化を無効にしておいてください。
8. 設定を保存するために、[適用] をクリックしてください。

	<p>メモ: PC からワイヤレスでルータを設定する場合、SSID、チャンネル、またはセキュリティ設定を変更すると、[適用] をクリックした後でワイヤレス接続が切断されます。この場合、PC のワイヤレス設定も変更してください。</p>
---	--

9. PC からワイヤレス接続できるかどうか確認してください。

ワイヤレス接続が確認できたら、ルータのワイヤレス・セキュリティ機能を設定してください。

高度なワイヤレス設定を理解する

メイン・メニューの高度な設定 [ワイヤレス設定] をクリックしてください。

高度なワイヤレス設定

ワイヤレス・ルータの設定

ワイヤレス・ルータの無線を有効にする

SSIDブロードキャストを有効にする

断片化スレッシュホールド(256 - 2346):

CTS/RTSスレッシュホールド(256 - 2346):

プリアンブル・モード:

Super G 設定

Super G機能を無効にする

ワイヤレス・カードのアクセス・リスト

図 4-5: 高度なワイヤレス設定画面

- **ワイヤレス・ルータの無線を有効にする:** ルータのワイヤレス・アクセス・ポイントを有効または無効にすることができます。ルータのフロント・パネルのワイヤレス・アイコン(LED)は、ワイヤレス・アクセス・ポイントが現在有効になっているか、無効になっているかを示します。有効ならば、ワイヤレス・ステーションはインターネットにアクセスすることができます。無効ならば、ワイヤレス・ステーションはインターネットにアクセスできません。

- **SSID ブロードキャストを有効にする:** 有効ならば、SSID はすべてのワイヤレス・ステーションに通知されます。

断片化スレッシュホールド、CTS/RTS スレッシュホールド、プリアンブル・モードは、ワイヤレスのテスト、あるいは高度な設定が必要な場合にのみ使用します。特別な理由がない限り、これらの設定を変更しないでください。設定を誤ると、ワイヤレス・ルータが正常に動作しないことがあります。

- **SuperG 機能を無効にする:** 無効にすると、ワイヤレス・ルータはデータ圧縮、パケット・バースト、およびラージ・フレーム・サポートの各機能を無効にします。
- **ワイヤレス・カードのアクセス・リスト:** ワイヤレス・ステーションの MAC アドレスに基づいてアクセスを制限します。

MAC アドレスによるワイヤレス・アクセスの制限

MAC アドレスによるアクセス制限を設定するには、以下の指示に従ってください。

1. WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータにログインしてください。(デフォルトの LAN アドレス: <http://192.168.1.1>、ユーザ名: **admin**、パスワード: **password**) もし、LAN アドレスやパスワードを変更した場合はそれを使用してください。



メモ: ワイヤレス PC の MAC アドレスを登録せずに [アクセス・コントロールを有効にする] をチェックして [適用] をクリックすると、その PC とルータとのワイヤレス接続は切断されます。それ以降は有線接続の PC、またはアクセス・リストに登録されたワイヤレス PC からでないと、ルータにアクセスすることができません。

2. WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータのメイン・メニューの高度な設定 [ワイヤレス設定] をクリックしてください。
3. 高度なワイヤレス設定画面で [アクセス・リストの設定] ボタンをクリックしてください。


**図 4-6: ワイヤレス・カードのアクセス・リスト画面**

4. [アクセス・コントロールを有効にする] チェック・ボックスをクリックしてください。
5. ワイヤレス・カードをアクセス・リストに追加するには [追加] をクリックしてください。
6. カードのデバイス名と MAC アドレスを入力してください。
7. このデバイスを追加するには、[追加] をクリックしてください。[ワイヤレス・カードのアクセス・リスト] 画面に戻ります。他に追加したいデバイスがあるときは、上記のステップを繰り返してください。
8. 設定を保存するために [適用] をクリックしてください。

一覧に表示されるデバイスだけが WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータに接続することができます。

WEP 暗号化の設定

WEP データ暗号化の設定については、以下の指示に従ってください。

	<p>メモ: PC からワイヤレスで WEP を設定する場合、[適用] をクリックした後でワイヤレス接続が切断されます。この場合、PC の WEP 設定も変更してください。</p>
---	---

1. WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータにログインしてください。(デフォルトの LAN アドレス: *http://192.168.1.1*、ユーザ名: **admin**、パスワード: **password**) もし、LAN アドレスやパスワードを変更した場合はそれを使用してください
2. WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータのメイン・メニューのセットアップ [ワイヤレス設定] をクリックしてください。
3. セキュリティ・オプションで [WEP] を選択してください。
4. セキュリティ暗号化で、認証タイプと暗号化の強度を選択してください。

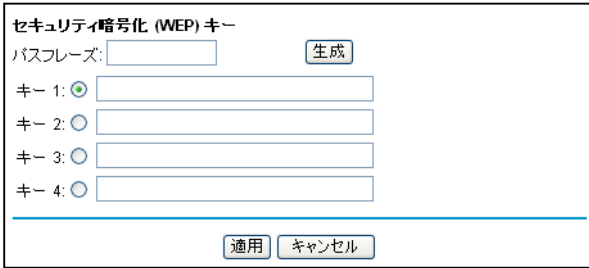



図 4-7: ワイヤレス設定画面 – WEP の設定

5. 手動または自動で 4 つのデータ暗号化キーを設定することができます。これらの値は、ネットワークのすべての PC とアクセス・ポイントで同一でなければなりません。
 - 自動: パスフレーズ・ボックスに印刷できる単語、文字列を入力して [生成] ボタンをクリックしてください。
 - 手動入力:
 - 64 ビット WEP では、10 桁の 16 進数 (0-9, a-f, A-F) を入力してください。
 - 128 ビット WEP では、26 桁の 16 進数 (0-9, a-f, A-F) を入力してください。
6. 設定を保存するために、[適用] をクリックしてください。

WPA-PSK の設定

WPA-PSK データ暗号化の設定については、以下の指示に従ってください。

	メモ: PC からワイヤレスで WEP を設定する場合、[適用] をクリックした後でワイヤレス接続が切断されます。この場合、PC の WPA-PSK 設定も変更してください。
---	--

1. WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータにログインしてください。(デフォルトの LAN アドレス: *http://192.168.1.1*、ユーザ名: **admin**、パスワード: **password**) もし、LAN アドレスやパスワードを変更した場合はそれを使用してください
2. WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータのメイン・メニューのセットアップ [ワイヤレス設定] をクリックしてください。
3. セキュリティ・オプションで [WPA-PSK] を選択してください。
4. パスフレーズ・ボックスに印刷できる単語、文字列を入力して [生成] ボタンをクリックしてください。(8~63 文字)



セキュリティ・オプション

無効

WEP (Wired Equivalent Privacy)

WPA-PSK (Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key)

セキュリティ暗号化 (WPA-PSK)

パスフレーズ: (8-63文字)

図 4-8: ワイヤレス設定画面 — WPA-PSK の設定

設定を保存するために [適用] をクリックしてください。

第 5 章 USB ドライブをルータに接続する

この章では、NETGEAR 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U に接続した USB ドライブの設定方法を説明します。

WGT634U には、USB フラッシュ・ディスクまたは USB ハード・ディスクを接続することができます。USB ドライブを使用するアプリケーション例：

- 別の場所にいる同僚とファイルを共有する – Word 文書、PowerPoint プレゼンテーション、テキスト・ファイルなどをリモート・ユーザと共有する。
- 友人と家族とマルチメディアを共有する – MP3 ファイル、写真、その他のマルチメディアをローカルおよびリモート・ユーザと共有する。
- ネットワーク上のリソースを共有する – コンピュータとは別の場所にファイルを保存し、コンピュータの電源を常時オンにすることなくファイルを共有する。また、Windows、Macintosh、Linux といったコンピュータのタイプの関わらず、USB ドライブを共有する。

メモ： USB ドライブをルータに接続するだけで、ローカル・ユーザは Microsoft ネットワークでドライブの読み出し／書き込みが可能になります。インターネットのユーザは、FTP を使って USB ドライブにアクセスすることができます。FTP の設定は USB ドライブ・ウィザードを使用します。

ファイル共有のシナリオ

USB ドライブ上に共有ファイルを設定すれば、ビジネスでもプライベートでも様々な用途に利用することができます。共有ファイルには、コンピュータのタイプ (Windows、Macintosh、Linux) に関わらず、あらゆるタイプのファイルが含まれます。(例：テキスト・ファイル、Word、PowerPoint、Excel、MP3、写真、マルチメディアなど)

ここでは、一般的な使用例を紹介します。

写真を友人や家族で共有する

54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U を利用すれば、写真やマルチメディアのために、これらの保存場所を確保することができます。これにより、写真やマルチメディアを保存し共有するために外部の有料サイトを利用する必要がなくなります。

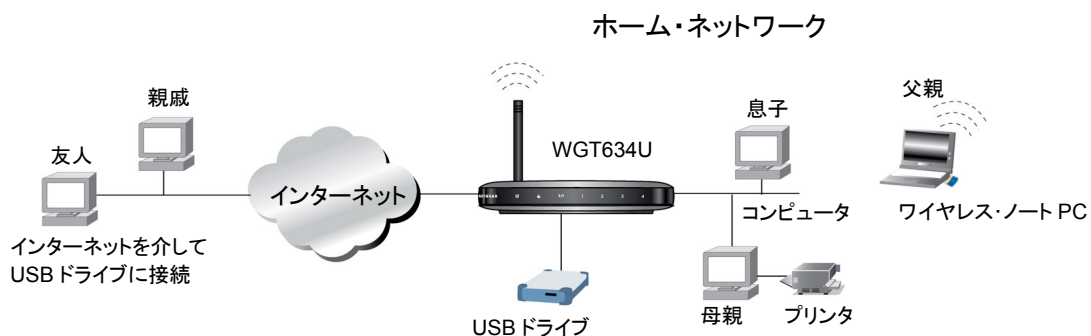


図 5-1: 写真を友人や家族で共有する

友人や家族とファイルを共有する手順は以下のとおりです。

1. 54G+ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U に、あなたの友人や家族のためにユーザ名とパスワードを設定します。
2. 友人や家族がアクセスすることができる共有フォルダを指定します。
3. このアカウントのアクセス権(読出しのみ、読出し/書込み)を決定します。遠隔地の友人や家族には、USBドライブの共有フォルダの読出し専用のアクセス権を割り当てます。
4. ローカルの家族は、Web ブラウザまたは Microsoft ネットワークを使って、USBドライブ上の共有フォルダにアクセスすることができます。ローカル・ユーザには、読出し/書込みのアクセス権を設定します。

別の場所にいる友人や家族と写真を共有する方法の詳細については、[5-11 ページの“リモート・コンピュータから USBドライブに接続する”](#)を参照してください。

ローカル・ネットワークの家族と写真を共有する方法の詳細については、[5-11 ページの“ローカル Web ブラウザから USBドライブに接続する”](#)、および [5-12 ページの“ホーム/オフィス・ネットワークから USBドライブに接続する”](#)を参照してください。

ゲームや印刷のためのファイルを一箇所で保存する

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータを利用すれば、ファイルの移動が容易になり、プライベートの資源をネットワーク資源として活用することができます。WGT634U は、ローカル・プリンタ、CD-ROM ドライブ、スピーカなどを装備した別のコンピュータにとって、簡単にアクセスできる集中化された記憶装置となります。

例えば、以下のような高画質カラー・プリンタが 1 台のコンピュータだけに接続され LAN では共有されていない、といった状況はどこの家庭でも起こりうることです。

- 娘は Macintosh に写真を保存していて、印刷したいと考えています。
- 母の PC には高画質のカラー・プリンタが接続されていますが、ネットワークで共有されていません。
- 母と娘のコンピュータは、互いにネットワーク上では見ることはできません。

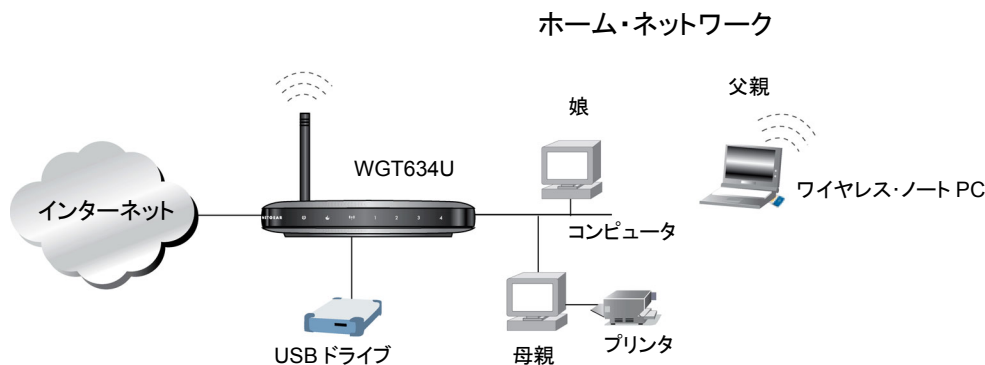


図 5-2: ゲームや印刷のためのファイルを一箇所で保存する

WGT634U に接続した USB ドライブを使えば、娘の Macintosh から母の PC に接続されたプリンタに、写真を簡単に送ることができます。

1. Web ブラウザを使って娘の Macintosh の写真を USB ドライブにコピーします。詳細については、[5-11 ページの“ローカル Web ブラウザから USB ドライブに接続する”](#)を参照してください。
2. 母の PC を使ってそのファイルを読み出し印刷します。USB ドライブと PC の間でファイルを移動するには、Web ブラウザまたは Microsoft ネットワークを使うことができます。詳細については、[5-12 ページの“ホーム/オフィス・ネットワークから USB ドライブに接続する”](#)を参照してください。

大きなサイズのファイルを共有する

多くのメール・システムでは、5MB より大きいファイルを送ると問題を引き起こすことがあります。WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータを利用すれば、PowerPoint プレゼンテーションや圧縮ファイルなどの非常に大きなサイズのファイルを、遠隔地にいる同僚と共有することができます。メール・システムが大きなサイズのファイルを扱えるかどうかを試してみるよりは、FTP を使って簡単に WGT634U から共有ファイルをダウンロードすることができます。

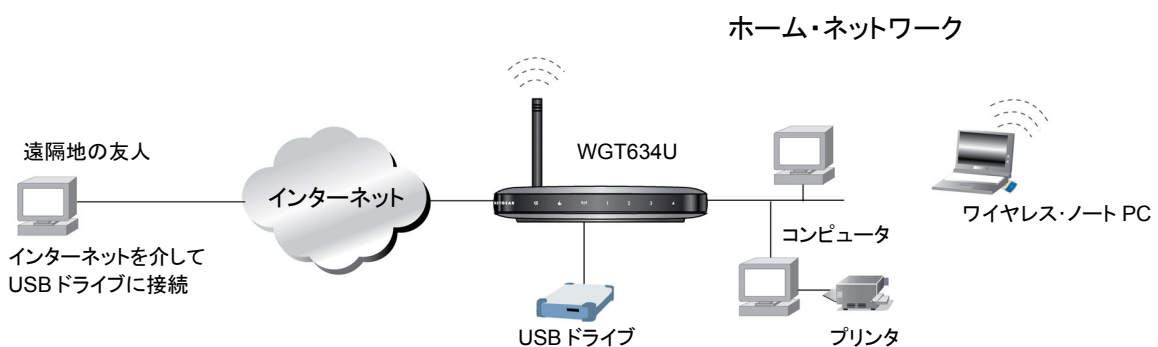


図 5-3: リモート・ユーザとファイルを共有する

遠隔地の同僚と FTP でファイルを共有する手順は以下のとおりです。

1. 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U に、あなたの同僚のためにユーザ名とパスワードを設定します。
2. 同僚がアクセスすることができる共有フォルダを指定します。
3. 遠隔地の同僚は、Web ブラウザで FTP を、または別の FTP プログラムを使って、USB ドライブ上の共有フォルダにアクセスすることができます。リモート・ユーザのアクセス権は、読出しのみ、または読出し／書込みに設定します。

詳細については、5-11 ページの“リモート・コンピュータから USB ドライブに接続する”を参照してください。

USB 設定を理解する

USB ディスク・ドライブを設定するには、メイン・メニューの [USBドライブ設定] をクリックしてください。以下のような USB ドライブ設定画面が表示されます。

USBドライブ設定

ネットワーク・アクセス

ホスト名:

ワークグループ:

FTPポート:

FTPアクセス

ステータス	ログイン名	パスワード	共有フォルダ	アクセス権	
<input checked="" type="radio"/>	有効	Friend	***	/share/partition1/	読出し

接続デバイス

パーティション	共有フォルダ	ファイル・システム・タイプ
1	/share/partition1	fat32

図 5-4: USB ドライブ設定画面

USBドライブ設定画面には、有効なログイン・アカウント、および各アカウントがアクセスできる共有フォルダが表示されます。

ネットワーク・アクセス

- **ホスト名** — ネットワークから USB ドライブにアクセスするときに使うホスト名。
- **ワークグループ** — ドメインでなく Windows ワークグループを使用する場合、ワークグループ名が表示されます。

FTP アクセス

- **ステータス** — リストされたログイン・アカウントが、有効か無効かが表示されます。
- **ログイン名** — USB ドライブにアクセスする権利があるユーザ。
- **パスワード** — セキュリティのために、ログイン・アカウントのパスワードは表示されません。
- **共有フォルダ** — ログイン・アカウントがアクセスする USB ドライブの最上位ディレクトリ。
- **アクセス権** — 共有フォルダへのアクセス権 (読出しのみ、または読出し／書込み)

接続デバイス

- パーティション – USBドライブのパーティション番号
- 共有フォルダ – USBドライブの最上位(ルート)ディレクトリ
- ファイル・システム・タイプ – パーティションのファイル・システム(FAT、FAT32、NTFS(読出しのみ)、Linux)

USBドライブを WGT634U に接続する



ローカル・ネットワークのデータとは違い、ルータの USB ドライブには正しいアクセス権があれば誰にでもアクセスすることができます。このため、特にワイヤレス・ネットワークではルータのセキュリティ機能の設定をしてください。

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータのセキュリティ設定については、[第 4 章“ワイヤレス設定”](#)、および[第 8 章“高度な設定”](#)を参照してください。

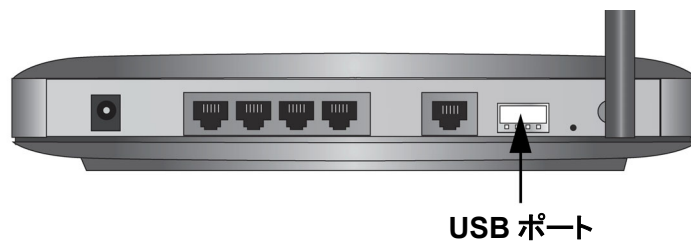


図 5-5: WGT634U の USB ポート

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータには、以下の USB ドライブを接続することができます。

- USB フラッシュ・ディスク(フラッシュ・メモリ・スティック)
- USB ハード・ディスク

USB ドライブの要件

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは、USB 1.0、1.1、および 2.0 標準をサポートしています。それぞれの USB バス速度は次のとおりです。

表 5-1. USB のバス速度

USB タイプ	速度/秒
USB 1.1	12 Mbps
USB 2.0	480 Mbps

実際のバス速度は、CPU の速度、メモリの速度、ネットワークの速度などの条件により変化します。

WGT634U で使用できる USB ドライブの最新情報は、NETGEAR の Web サイトをご覧ください。

54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U の USB ポートには、ハード・ディスクのような USB 記憶デバイスを接続することができます。USB 接続のモデム、プリンタ、CD-ROM ドライブ、DVD ドライブなどは、WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータに接続することができません。

メモ: WGT634U の USB ポートには 1 台の USB ドライブを接続することができます。USB ハブを接続することはできません。

WGT634U は、FAT、FAT32、NTFS (読出しのみ) および Linux ファイル・システムをサポートします。

インターネットからリモート・アクセスするために USB ドライブ・ウィザードを使用する

USB ドライブに共有フォルダを設定するには USB ドライブ・ウィザードを使用します。

1. WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータにログインしてください。(デフォルトの LAN アドレス: <http://192.168.1.1>、ユーザ名: **admin**、パスワード: **password**) もし、LAN アドレスやパスワードを変更した場合はそれを使用してください。

2. メイン・メニューの USBドライブ・ウィザードを選択すると、下に示すようなページが表示されます。

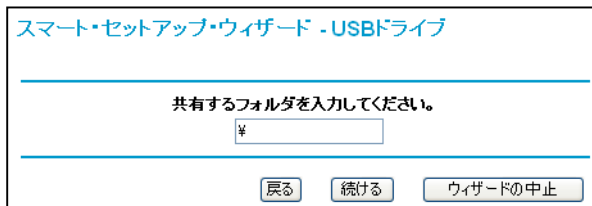


図 5-6: 共有フォルダの設定

3. 共有するフォルダ名を入力してください。USBドライブをすべて共有するには ¥ を入力してください。USBドライブの特定のフォルダを共有するには、

¥<共有フォルダ>

<共有フォルダ> には共有するフォルダ名が入ります。¥ または ¥<共有フォルダ> の下にあるすべてのファイルとサブ・フォルダにアクセスすることができます。

[続ける] をクリックしてください。

4. ドライブに FTP アクセスするためのユーザ・ログイン名を入力してください。

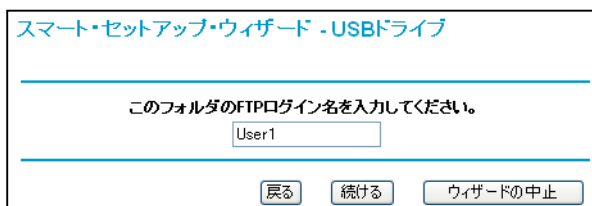


図 5-7: ログイン名の設定

[続ける] をクリックしてください。

5. パスワードを入力してください。

6. アクセス権を設定してください。

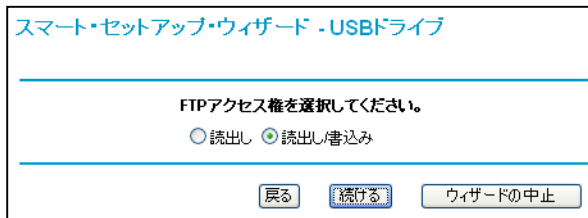


図 5-8: アクセス権の設定

アクセス権は、読出または読出し／書込みのどちらかです。

7. 共有フォルダのリストを参照する場合は [続ける] をクリックしてください。
8. 設定を保存するために [終了] をクリックしてください。

USB ドライブ・メニューから FTP アクセス権を設定する

USBドライブ設定画面でも USBドライブの共有設定が可能です。

USB ドライブへのユーザ・アクセス設定

1. メイン・メニューで [USBドライブ設定] を選択してください。
2. [追加] をクリックすると、以下のような画面が表示されます。

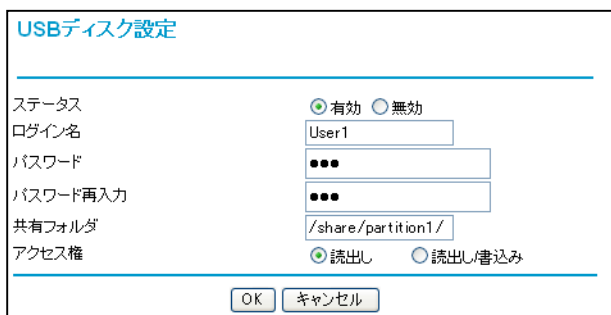


図 5-9: USB ドライブへのユーザ・アクセス設定

3. USBドライブへのアクセスを許可する場合は **[有効]** を選択してください。
4. ログイン名を入力してください。
5. パスワードを入力してください。
6. 共有フォルダに、このアカウントがアクセスできる USBドライブの最上位ディレクトリ名を入力してください。
7. アクセス権(読出しのみ、または読出し／書込み)を設定してください。
8. **[OK]** をクリックして設定を保存してください。

USBドライブを取り外す

USBドライブを取り外すには、USBドライブ設定画面で **[ディスクの取り出し]** ボタンをクリックしてください。

メモ: ルータから USBドライブを取り外す前に必ず上記の操作を行ってください。

データの書き込み中に USBドライブが取り外されると、ファイルまたはディスク内容が壊れることがあります。

USBドライブのアクセス方法を理解する

ユーザが USBドライブに接続するには 3 つの方法があります:

1. ローカル Web ブラウザ — ローカル・ネットワークのユーザは、Web ブラウザで USBドライブ(ルータ)のローカル IP アドレスを指定することができます。特に指定しない限り、LAN ユーザのアクセス権は“読出し／書込み”になります。詳細については、[5-11 ページの“ローカル Web ブラウザから USBドライブに接続する”](#)を参照してください。
2. リモート Web ブラウザ — リモート・ネットワークのユーザは、Web ブラウザで USBドライブ(ルータ)の WAN IP アドレスを指定することができます。WAN アクセスは FTP によって可能で、アクセス権は“読出しのみ”または“読出し／書込み”のどちらかに設定することができます。詳細については、[5-11 ページの“リモート・コンピュータから USBドライブに接続する”](#)を参照してください。
3. Microsoft ネットワーク — ローカル・ネットワークのユーザは、Windows エクスプローラから USBドライブのファイルにアクセスすることもできます。特に指定しない限り、Windows エクスプローラからのアクセス権は“読出し／書込み”になります。詳細については、[5-12 ページの“ホーム／オフィス・ネットワークから USBドライブに接続する”](#)を参照してください。

ローカル WEB ブラウザから USB ドライブに接続する

ローカル・コンピュータから USB ドライブにアクセスするには Web ブラウザを使用することができます。

1. Internet Explorer または Netscape Navigator のアドレス・フィールドで **ftp://**、これに続いて LAN ポートの IP アドレスを入力することでルータへ接続することができます。

例: **ftp://192.168.1.1**

2. USB ドライブのアクセス権があるアカウント名とパスワードを入力してください。
3. アクセス権がある USB ドライブのルート・ディレクトリが表示されます。

例: **share¥partition1¥folder1**

4. このディレクトリからファイルを読み込んだり、コピーすることができます。書込みの権限があるときはこのディレクトリにファイルを書き込むことができます。

リモート・コンピュータから USB ドライブに接続する

Web ブラウザを使ってリモート・コンピュータから USB ドライブに接続するには、ルータのインターネット IP アドレスを使わなければなりません。

インターネット・ポートの IP アドレスを確認する

1. WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータにログインしてください。(デフォルトの LAN アドレス: **http://192.168.1.1**、ユーザ名: **admin**、パスワード: **password**) もし、LAN アドレスやパスワードを変更した場合はそれを使用してください。
2. メイン・メニューのメンテナンス [ステータス] をクリックします。
3. インターネット・ポートの IP アドレスを確認します。この IP アドレスでリモートからルータに接続します。

FTP を使って USB ドライブにリモート・アクセスする

Web ブラウザから USB ドライブに接続することができます。

1. Internet Explorer または Netscape Navigator のアドレス・フィールドで **ftp://**、これに続いてインターネット・ポートの IP アドレスを入力することでルータへ接続することができます。

例: **ftp://10.1.65.4**

ダイナミック DNS を使用している場合は、IP アドレスでなく DNS 名を入力することができます。

2. USB ドライブのアクセス権があるアカウント名とパスワードを入力してください。
3. アクセス権がある USB ドライブのディレクトリが表示されます。(例: share¥partition1¥folder1)
このディレクトリからファイルを読み込んだり、コピーすることができます。

ホーム/オフィス・ネットワークから USB ドライブに接続する

Microsoft ネットワークの設定を使って、家庭またはオフィス・ネットワークのローカル・コンピュータから USB ドライブにアクセスすることができます。これには、Microsoft Windows 2000、XP、またはファイルとプリンタの共有設定をした以前の Windows のバージョンを使用します。ドラッグ&ドロップ、ファイル・オープン、カット&ペーストなどの通常のファイル操作が可能です。

ファイルやプリンタの共有

USB ドライブに接続するためには、各コンピュータのネットワークのプロパティで設定する必要があります。Microsoft のファイルとプリンタの共有が有効でなければなりません。

メモ: Windows 2000 と Windows XP では、ファイルとプリンタの共有はデフォルトで有効です。

Windows 98SE、Me での設定

デスクトップの“ネットワーク コンピュータ”を右クリックし、ネットワークにプロパティを表示しプロパティをクリックします。ネットワーク共有サービスがリストされていない場合は、追加をクリックしてインストールしてください。

メモ: ファイルやプリンタの共有設定の詳細は、Windows のヘルプ、またはマニュアルをご覧ください。

Windows スタート・メニューから USB ドライブに接続する

Microsoft ネットワークで USB ドライブにアクセスするには、

1. Windows ツール・バーで [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択してください。
2. 表示されたフィールドに以下を入力してください。

¥¥<IP アドレス>

入力する IP アドレスは、ルータのローカル IP アドレスまたはホスト名です。(例: ¥¥192.168.1.1 または ¥¥WGT634U)

ホスト名は、Web 設定インタフェースの USB ドライブ設定で指定することができ、デフォルトは WGT634U です。

3. [OK] をクリックしてください。新しいエクスプローラのウィンドウが表示され、ルート・フォルダが表示されます。

Windows エクスプローラから USB ドライブに接続する

Windows エクスプローラから USB ドライブにアクセスするには、

1. Windows エクスプローラで以下を入力してください。

¥¥<IP アドレス>

入力する IP アドレスは、ルータのローカル IP アドレスまたはホスト名です。(例: ¥¥192.168.1.1 または ¥¥WGT634U)

ホスト名は、Web 設定インタフェースの USB ドライブ設定で指定することができ、デフォルトは WGT634U です。

2. USB ドライブのルート・フォルダが表示されます。

マイネットワークから USB ドライブに接続する

ローカルの USB ドライブのファイルを参照するために、Windows のマイ ネットワークまたはネットワーク コンピュータを使うことができます。Windows XP のローカル・コンピュータから USB ドライブに接続するには、

1. スタート・メニューでマイ ネットワーク選択します。
2. そして、アクセスしたいフォルダを開いてください。

例: **¥¥WGT634U¥share**

第 6 章 コンテンツ・フィルタ

この章では、NETGEAR 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U のコンテンツ・フィルタ機能について説明します。

インターネット・サイトへのアクセスを禁止する

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは、Web アドレスや Web アドレスに含まれるキーワードに基づいて Web アクセスを制限することができます。キーワードは最大 255 エントリまで登録可能です。

禁止サイト

キーワード・ブロック

ブロックしない

スケジュールによる

常にブロック

ここにキーワードまたはドメイン名を入力

キーワードの追加

これらのキーワードまたはドメイン名を含む禁止サイト:

キーワードの削除 リストの消去

信頼できるIPアドレスに禁止サイトへのアクセスを許可する

信頼できるIPアドレス

適用 キャンセル

図 6-1: 禁止サイト画面

キーワードによるブロックを有効にするには、[スケジュールによる] または [常にブロック] を選択してください。スケジュールによってブロックする場合は、スケジュール画面で曜日、時刻を設定してください。

キーワードまたはドメインを追加するには、[ここにキーワードまたはドメイン名を入力] ボックスに入力し、[キーワードの追加] をクリックしてください。そして [適用] をクリックしてください。

キーワードまたはドメインを削除するには、[これらのキーワードまたはドメイン名を含む禁止サイト] 一覧から選択し、[キーワードの削除] をクリックしてください。そして [適用] をクリックしてください。

キーワードによるブロックの例:

- キーワード“xxx”を指定すると、URL `http://www.badstuff.com/xxx.html` はブロックされます。
- キーワード“.com”を指定すると、ドメインに“.com”を含むすべてのサイトがブロックされます。
- すべての Web アクセスをブロックしたい場合は、キーワード “.”を入力してください。

ブロックもログもされない PC を 1 台、信頼できる PC として設定することができます。信頼できるユーザを設定するには、[信頼できる IP アドレス] でその PC の IP アドレスを入力し、[適用] をクリックしてください。信頼できるユーザは IP アドレスによって指定するので、その PC には固定 IP アドレスを設定してください。

インターネット・サービスへのアクセスを禁止する

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは、ネットワーク上の PC で特定のインターネット・サービスの利用を制限することができます。

禁止サービス

サービス・ブロック

ブロックしない

スケジュールによる

常にブロック

サービス一覧

#	サービス・タイプ	ポート	IP
1	HTTP	80	All

追加 編集 削除

適用 キャンセル

図 6-2: 禁止サービス画面

サービスは、クライアント・コンピュータのリクエストによりサーバ・コンピュータで実行される機能です。例えば、WebサーバはWebページを、タイムサーバは日時を提供します。また、ゲームホストは他のプレーヤーのデータを提供します。コンピュータがインターネット上のサーバ・コンピュータにサービスのリクエストを送信するとき、そのサービスはポート番号によって認識されます。この番号は、送信IPパケットの宛先ポート番号です。例えば、宛先ポート番号80はHTTP(Webサーバ)リクエストです。

サービス・ブロックを有効にするには、[スケジュールによる] または [常にブロック] を選択してください。スケジュールによってブロックする場合は、スケジュール画面で曜日、時刻を設定してください。

ブロックするサービスを指定するには、[追加] をクリックしてください。以下に示すように、禁止サービス設定画面が表示されます。

図 6-3: 禁止サービス設定画面

サービス・タイプで、ブロックするアプリケーションまたはサービスを選択してください。リストには、一般的なサービスが予め登録されています。リストにないサービスやアプリケーションを追加するには、[ユーザ定義] を選択してください。

- ユーザ定義のサービスを追加する

サービスを追加する前に、そのサービスでどのポート番号、またはポート番号の範囲が使われているかを確認してください。一般的なプロトコルのサービス番号は、IETF(the Internet Engineering Task Force)によって定義されており、RFC1700 Assigned Numbers で公開されています。その他のアプリケーションのサービス番号は、アプリケーションの開発者によって1024～65535の範囲から選ばれます。

開始ポートと終了ポート番号を入力してください。アプリケーションが1つのポート番号を使用する場合は、両方のボックスに同じ番号を入力してください。

アプリケーションがTCPまたはUDPを使う場合は、どちらかのプロトコルを選んでください。不明の場合はTCP/UDPを選択してください。

- **ブロックする PC の IP アドレスを指定する**

[このサービスを禁止するコンピュータ(IP アドレス)] では、どの PC でサービスをブロックするかを指定します。

- 1 台の PC でブロックする場合は、[この IP アドレスのみ] を選択し PC の IP アドレスを入力してください。
- すべての PC でブロックする場合は、[すべての IP アドレス] を選択してください。

スケジュール

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータでは、ブロックする曜日、時刻を指定することができます。

図 6-4: スケジュール画面

- **曜日でブロックする:** ブロックする曜日をチェックしてください。すべての曜日でブロックするには [毎日] を選択してください。[適用] をクリックしてください。
- **時刻でブロックする:** 開始時刻と終了時刻を 24 時間表示で入力してください。一日中ブロックするには [全日] を選択してください。[適用] をクリックしてください。

メモ: 必ず E メール画面でタイム・ゾーンを指定してください。

Web アクセス・ログの表示

ログは、Web サイトにアクセスした、またはアクセスしようとした記録です。ログは、最大 128 エントリまで保持されます。ログは、キーワード・ブロックを有効にしたときに記録されます。また、信頼できるユーザはログには記録されません。



図 6-5: ログ画面

表 6-1 はログ・エントリの説明です。

表 6-1. ログ・エントリの説明

フィールド	説明
番号	ログ・エントリのインデックス番号(0~127)。最大 128 個のログを記録することができます。
日付と時刻	ログされた日付と時刻です。
発信元 IP	ログ・エントリのきっかけとなった発信元(Source) IP アドレス
アクション	アクセスがブロック(BLOCK)されたか許可(ALLOW)されたかを示します。
サイト	アクセスした Web サイトの名前、または IP アドレスが表示されます。

表 6-2 はログ画面にあるボタンの説明です。

表 6-2. ログ画面のボタン

フィールド	説明
更新	ログに表示される情報を更新します。
ログの消去	ログ・エントリを消去します。
ログの送信	ログを E メールで直ちに送信します。

E メールによる Web アクセス・ログ通知の設定

ログと警告を E メールで受け取るには、E メール画面で E メール情報を入力してください。

Eメール

Eメール通知を有効にする

警告とログをEメールで送信する

送信メール・サーバ:

Eメール・アドレス:

すぐに警告を送信
誰かが禁止サイトにアクセスしようとしたとき

スケジュールに基づきログを送信

ログがいっぱいになるとき

曜日

時間 a.m. p.m.

タイム・サーバにNTPを使用する はい いいえ

/ / (mm/dd/yyyy) : : a.m. p.m.

タイム・ゾーン
 (GMT+09:00) 東京、大阪、札幌、ソウル、ヤクーツ

夏時間に調整する

現在の時刻: 2004年 09月 01日 水曜日 21:17:55

図 6-6: E メール画面

- **Eメール通知を有効にする**
ログと警告を E メールで受け取る場合は、このボックスをチェックしてください。
- **送信メール・サーバ**
送信 (SMTP) メール・サーバの名前を入力してください。(例: mail.myISP.com) このボックスがブランクの場合は、ログと警告は E メールで送信されません。

- **E メール・アドレス**

ログと警告が送られる E メール・アドレスを入力してください。このボックスがブランクの場合は、ログと警告は E メールで送信されません。

以下のオプション設定により、ログを指定された E メール・アドレスに自動的に送信することができます。

- **すぐに警告を送信**

禁止サイトへアクセスしようとしたときすぐに通知する場合は、このボックスをチェックしてください。

- **このスケジュールに基づきログを送信**

ログを送信する間隔を指定します。（“送信しない”、“毎時”、“毎日”、“毎週”、“ログがいっぱいするとき”）

- ログを送信する曜日： ログを送信する曜日を指定します。（毎週を指定したとき。）

- ログを送信する時刻： ログを送信する時刻を指定します。（毎週、または毎日を指定したとき。）

毎週、毎日、または毎時を選択し、指定された期間より前にログが一杯になったときは、ログは指定された E メール・アドレスに自動的に送信されます。ログが送信されると、ログはルータのメモリから消去されます。ログを E メールで送信せず、ログのバッファが一杯になったときは、ルータは古いログから破棄します。ログを送信しない場合は、[このスケジュールに基づきログを送信] で [送信しない] を選択してください。[Eメール通知を有効にする] をチェックし、[このスケジュールに基づきログを送信] で [送信しない] が選択されているときは、ログは送信されませんが、警告は送信されます。

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは、ネットワーク・タイム・プロトコル (NTP) を使い、インターネットのネットワーク・タイム・サーバから現在の日付と時刻を取得します。

ログ・エントリのために時間を設定するにはタイム・ゾーンを指定します。

- **タイム・ゾーン**： ルータを使用する地域を選択してください。この設定は、スケジュール、およびログ・エントリのタイム・スタンプで使用されます。

- **夏時間に調整する**： 選択したタイム・ゾーンが夏時間の場合は、このボックスをチェックしてください。

第7章 メンテナンス

この章では、NETGEAR 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U のメンテナンス機能について説明します。

ステータス情報の参照

ルータのステータス画面では、ルータのステータスと使用状況を参照することができます。

ステータス	
アカウント名	WGT634U
ファームウェア・バージョン	1.4.0.6
インターネット・ポート	
MACアドレス	00:09:5b:f7:01:27
IPアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
DHCP	PPPOE
IPサブネット・マスク	255.255.255.255
ドメイン・ネーム・サーバ	xxx.xxx.xxx.xxx xxx.xxx.xxx.xxx
LANポート	
MACアドレス	00:09:5b:f7:01:26
IPアドレス	192.168.1.1
DHCP	ON
IPサブネット・マスク	255.255.255.0
ワイヤレス・ポート	
名前 (SSID)	NETGEAR
地域	Japan
チャンネル	11
モード	g and b
名前のブロードキャスト	OFF

図 7-1: ルータの状態画面

この画面では、以下の情報を参照することができます。

表 7-1. ルータのステータスの説明

フィールド	説明
アカウント名	ルータに割り当てられたホスト名
ファームウェア・バージョン	ルータのファームウェアのバージョン
インターネット・ポート	ルータのインターネット・ポートの情報
MAC アドレス	インターネット・ポートの MAC アドレス
IP アドレス	インターネット・ポートの IP アドレス。アドレスが表示されない場合は、ルータはインターネットに接続することができません。
DHCP	ルータが ISP から動的に IP アドレスを取得するかどうかを示します。
IP サブネット・マスク	インターネット・ポートの IP サブネット・マスク。
ドメイン・ネーム・サーバ	現在の DNS アドレス
LAN ポート	ルータの LAN ポートの情報
MAC アドレス	LAN ポートの MAC アドレス
IP アドレス	LAN ポートの IP アドレス。デフォルトは 192.168.1.1 です。
DHCP	ルータが LAN 上のデバイスに対して DHCP サーバかどうかを示します。
IP サブネット・マスク	LAN ポートの IP サブネット・マスク。デフォルトは 255.255.255.0 です。
ワイヤレス・ポート	ルータのワイヤレス・ポートの情報
名前 (SSID)	ルータのワイヤレス・ネットワーク名 (SSID)。デフォルトは NETGEAR です。
地域	ルータを使用する国／地域
チャンネル	ワイヤレス・ポートが使用しているチャンネル
モード	現在のモード (g and b, g only, b only)
名前のブロードキャスト	ルータが SSID をブロードキャストしているかどうかを示します。

接続状態

[接続状態] をクリックすると、以下に示すような WAN ステータスが表示されます。

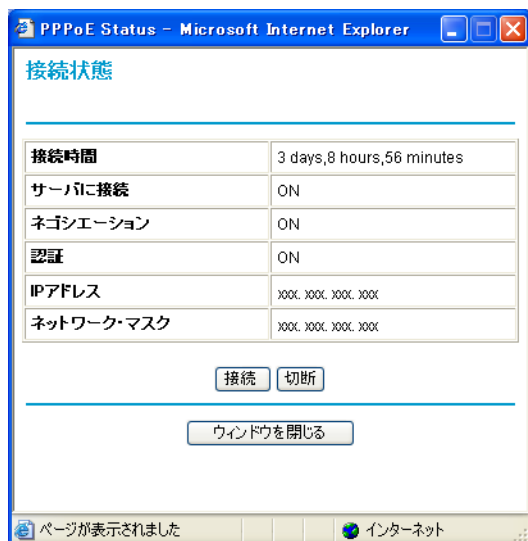


図 7-2: 接続状態画面 - PPPoE

接続状態画面には、以下の情報が表示されます。

表 7-2. 接続状態の情報 - PPPoE

フィールド	説明
接続時間	ISP への接続時間
サーバに接続	ISP への接続状態 (OFF/ON)
ネゴシエーション	ネゴシエーションの状態 (OFF/ON)
認証	認証の状態 (OFF/ON)
取得した IP アドレス	現在の IP アドレス
取得したネットワーク・マスク	IP サブネット・マスク

表 7-3. 接続状態画面のボタン

ボタン	説明
接続	ISP へ接続します。
切断	ISP との接続を終了(切断)します。

接続統計

[統計表示] をクリックすると、以下に示すようなルータのパフォーマンス統計が表示されます。

システム稼働時間 00:44:54							
ポート	状態	TxPkts	RxPkts	衝突	Tx B/s	Rx B/s	稼働時間
WAN	Up	404	1493	0	0	55	00:43:59
LAN	Up	2102	3032	0	1335	224	00:43:58
WLAN	Up	4749	76148	0	1441	2448	00:43:58

サンプリング間隔: (秒)

図 7-3: 統計画面

この画面には、以下の情報が表示されます。

表 7-4. 統計情報の説明

フィールド	説明
システム稼働時間	ルータが再起動してからの時間
ポート	WAN(インターネット)、LAN(ローカル)または WLAN(ワイヤレス)ポート。 各ポートについて以下の情報が表示されます。
状態	ポートのリンク・ステータス
TxPkts	ポートをリセットしてからの送信パケットの数
RxPkts	ポートをリセットしてからの受信パケットの数
衝突	ポートをリセットしてからの衝突回数
Tx B/s	現在の送信帯域幅
Rx B/s	現在の受信帯域幅
稼働時間	ポートでリンクが確立してからの時間
サンプリング間隔	このウィンドウの統計が更新される間隔を指定します。[停止] ボタンをクリックすると、このウィンドウの情報は更新されません。


表 7-5 は、統計画面のボタンの説明です。

表 7-5. 統計画面のボタン

フィールド	説明
間隔の設定	サンプリング間隔(秒)を入力して [間隔の設定] をクリックしてください。
停止	[停止] ボタンをクリックすると、このウィンドウの情報は更新されません。

接続デバイスの参照

接続デバイスでは、ルータが LAN 上で検出したすべての IP デバイスを表示します。メイン・メニューのメンテナンス [接続デバイス] をクリックすると、以下の画面が表示されます。



接続デバイス			
#	IPアドレス	デバイス名	MACアドレス
1	192.168.1.3	PC1	08:00:46:72:8b:a6

更新

図 7-4: 接続デバイス画面

一覧には、各デバイスの IP アドレス、NetBIOS ホスト名 (利用できる場合)、MAC アドレスが表示されます。ルータを再起動すると、このデータは失われます。ルータに接続されたデバイスを再検出するには、[更新] ボタンをクリックしてください。

ルータ・ソフトウェアのアップグレード

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータのルーティング・ソフトウェアはフラッシュ・メモリに記憶されており、アップグレードすることができます。アップグレードは、次の 2 つの方法で可能です。

- ルータにログインしたときにファームウェア・アップグレード・アシスタントを使う。
- メイン・メニューのメンテナンス [アップグレード] 画面でアップグレードする。

警告：ファームウェア・アップグレードのプロセスは中断しないでください。

ルータ・アップグレードは数分で終了します。アップグレードを開始したら、プロセスに割り込みをかけないでください。

- アップグレード・プロセスが完了するまで Web 設定インタフェースを使用しないでください。
- Web 設定インタフェースを閉じたり、別のリンクをクリックしたり、または別のページを表示したりしないでください。
- コンピュータの電源を切り、アップロードを中断しないでください。
- ルータの電源を切り、アップロードを中断しないでください。

メモ： アップロード中に Web ブラウザ、コンピュータまたはルータに割り込みをかけると、ソフトウェアが壊れる可能性があります。アップグレードの前にバックアップを取るようにしてください。

ファームウェア・アップグレードの要件

- ルータのアップグレードを実行するときは、LAN でルータに直接接続した PC から実行してください。ファームウェアをアップグレードするとき、ワイヤレス接続の PC を使用しないでください。
- WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータに新しいファームウェアをアップロードするには、ブラウザが HTTP アップロードをサポートしていなければなりません。Microsoft Internet Explorer 6.0、または Netscape Navigator 4.0 以上を使用してください。

ログイン時にファームウェア・アップグレードを確認する

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータに最初にログインすると、下に示すようなファームウェア・アップグレード・アシスタント画面が表示されます。

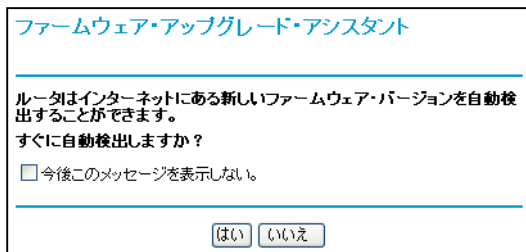


図 7-5: ファームウェア・アップグレード・アシスタント

ファームウェア・アップグレード・アシスタントを使って新しいファームウェアを確認するには、

1. [はい] をクリックしてください。
2. WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータが新しいファームウェアが利用できることを検出したときは、画面の指示に従い、新しいファームウェアをダウンロードしインストールしてください。

メニューからファームウェア・アップグレードを実行する

メイン・メニューのメンテナンス [アップグレード] をクリックすると、以下の画面が表示されます。

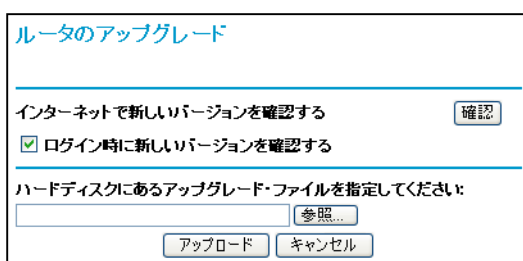


図 7-6: ルータのアップグレード画面

新しいファームウェアをチェックするには、以下の指示に従ってください。

1. 必要ならば、アップグレードの前に現在の設定をバックアップしてください。
2. [確認] をクリックしてください。

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータが新しいファームウェアが利用できることを検出したときは、画面の指示に従い、新しいファームウェアをダウンロードしインストールしてください。

ハード・ディスクからファームウェアをアップロードするには、以下の指示に従ってください。

1. NETGEAR の Web サイトから、新しいファームウェアをダウンロードしてください。
2. ルータの Web 設定インタフェースを開いてください。
3. ルータのアップグレード画面で [参照] ボタンをクリックして、アップグレード・ファイルを指定してください。
4. [アップロード] をクリックしてください。
5. ルータが再起動するまでお待ちください。これには約 3 分かかります。
6. ルータのステータス画面で、ルータ・ファームウェアが更新されたことを確認してください。

ファームウェアのアップグレードで問題が発生したときは、ルータを工場出荷時の状態に戻し、再度アップグレードしてみてください。

設定ファイルの管理

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータの設定は、ルータ内にファイルとして保存されています。このファイルは、PC に保存 (バックアップ) したり、PC から読み込む (復元) ことができます。また、工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。

メイン・メニューのメンテナンス [設定のバックアップ] をクリックすると、以下の画面が表示されます。

設定のバックアップ

現在の設定をファイルに保存する

バックアップ

ファイルに保存した設定から復元する

参照...

復元

工場出荷時の設定に戻す

消去

図 7-7: 設定のバックアップ画面

ここでは、以下に説明する 3 つのオプションが使用できます。

設定の復元、バックアップ

設定のバックアップ画面で、設定ファイルを保存したり読み込んだりすることができます。

設定を保存するには、[バックアップ] ボタンをクリックしてください。ブラウザは、ルータから設定ファイルを読み込み、PC のファイルとして保存します。このとき、設定ファイルの名前を指定することができます。

保存された設定ファイルを読み込むには、ファイルが保存されている場所へのパスを入力するか、[参照] ボタンをクリックしてファイルを選択してください。ルータにファイルを書き込むために [復元] をクリックしてください。ルータは自動的に再起動します。

メモ: WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータにソフトウェアをアップロードしている間は、Web ブラウザを閉じたり、リンクをクリックしたり、新しいページを表示したりしないでください。ブラウザに割り込みがあると、ソフトウェアが正しくアップロードできないことがあります。アップロードが終了すると、ルータは自動的に再起動します。アップグレードには通常約 1 分かかります。

設定の消去

設定の消去では、ルータを工場出荷時の設定に戻すことができます。設定を消去すると、ルータのパスワードは **password**、LAN IP アドレスは **192.168.1.1** に戻ります。

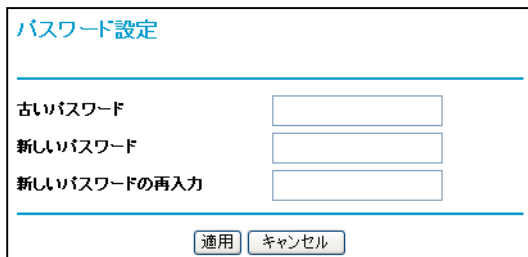
設定を消去するには、[消去] ボタンをクリックしてください。

ログイン・パスワードまたは IP アドレスを忘れた場合は、ルータの後部パネルのリセット・ボタンで工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。この手順については、[9-8 ページの“初期設定とパスワードの復元”](#)を参照してください。

管理者パスワードの変更

ルータの Web 設定インタフェースのデフォルトのパスワードは **password** です。このパスワードをより安全なパスワードに変更してください。

メイン・メニューのメンテナンス [パスワード設定] をクリックすると、以下の画面が表示されます。



パスワード設定	
古いパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワードの再入力	<input type="password"/>
適用 キャンセル	

図 7-8: パスワード設定画面

パスワードを変更するには、古い(現在の)パスワードを入力し、新しいパスワードを 2 回入力してください。[適用] をクリックしてください。

第 8 章 高度な設定

この章では、NETGEAR 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U の高度な設定について説明します。

ローカル・サーバへのポート転送

ルータを利用すると、インターネットに対してローカル・ネットワーク全体をひとつのコンピュータとして見せかけることができます。ポート転送では、インターネットに公開されたローカル・サーバ(例: Web サーバ、ゲーム・サーバ)を設定することができます。

メイン・メニューの高度な設定【ポート転送】をクリックすると、以下のようなポート転送画面が表示されます。



#	サービス名	開始ポート	終了ポート	サーバIPアドレス
---	-------	-------	-------	-----------

図 8-1: ポート転送画面

ポート転送画面で、受信プロトコルをローカル・ネットワークの上のコンピュータに転送するよう設定します。特定のアプリケーションのためのサーバに加えて、その他のすべての受信プロトコルを転送するデフォルト DMZ サーバを指定することもできます。DMZ サーバは WAN 設定画面で設定します。

ポート転送では、まず提供するサービス、アプリケーション、またはゲームのタイプ、およびコンピュータの IP アドレスを決定する必要があります。コンピュータには固定 IP アドレスを設定してください。

インターネットからアクセスできるコンピュータまたはサーバを設定する:

1. サービス名のリストから提供するインターネット・サービスを選択してください。
2. [サーバ IP アドレス] にコンピュータの IP アドレスを入力してください。
3. [追加] をクリックしてください。

ポート転送するサービスの追加

リストにないサービス、ゲーム、アプリケーションを使用する場合は、サービスが使用するポート番号を入力しておく必要があります。ポート番号が判らないときは、使用するプログラムのメーカーにお問い合わせください。

1. [カスタム・サービスの追加] をクリックしてください。
2. [サービス名] ボックスにサービス名を入力してください。
3. [開始ポート] ボックスに開始ポート番号を入力してください。
4. [終了ポート] ボックスに終了ポート番号を入力してください。ひとつのポート番号を使用する場合は、[開始ポート] と同じポート番号を入力します。
5. [サーバ IP アドレス] ボックスにコンピュータの IP アドレスを入力してください。
6. [適用] をクリックしてください。

ポート転送エントリの修正、削除

サービス・エントリの修正:

1. 一覧から編集するエントリのラジオ・ボタンを選択してください。
2. [サービスの編集] をクリックしてください。
3. サービス名、開始ポート、終了ポート、サーバ IP アドレスの情報を修正してください。
4. [適用] をクリックしてください。

サービス・エントリの削除:

1. 一覧から削除するエントリのラジオ・ボタンを選択してください。
2. [サービスの削除] をクリックしてください。

ローカル Web サーバと FTP サーバの例

プライベート IP アドレス 192.168.1.33 の PC を Web サーバと FTP サーバに設定するには、ポート転送画面で、HTTP (ポート 80) と FTP (ポート 21) を 192.168.1.33 に転送するように設定します。

リモート・ユーザがインターネットからこのサーバにアクセスするには、リモート・ユーザは ISP がルータに割り当てた IP アドレスを知っていなければなりません。このアドレスが 172.16.1.23 とすると、インターネットのユーザが `http://172.16.1.23` をブラウズすると、Web サーバにアクセスすることができます。割り当てられた IP アドレスは、メンテナンス [ステータス] で、インターネット・ポートの IP アドレスとして表示されます。

ポート転送の注意点

- ISP が IP アドレスを動的に割り当てる場合は、DHCP リース期限切れにより、IP アドレスが定期的に変更されることがあります。
- ローカル PC の IP アドレスが DHCP によって割り当てられる場合は、PC が再起動されるたびに IP アドレスが変わることがあります。これを避けるために、固定アドレスを PC に設定してください。
- ローカル PC が、ローカル・サーバにアクセスする場合は、ローカル LAN アドレス (例: 192.168.0.33) を使ってアクセスしなければなりません。外部の IP アドレス (例: 172.16.1.23) を使ってサーバにアクセスすることはできません。

Counter-Strike、Unreal Tournament、Quake III などのために複数のコンピュータを設定する

Counter-Strike、Unreal Tournament、Quake III などのために、プレイするコンピュータを追加する:

1. [カスタム・サービスの追加] をクリックしてください。
2. [サービス名] ボックスにサービス名を入力してください。
3. [開始ポート] ボックスに開始ポート番号を入力してください。
これらのゲームでは、まずデフォルトの番号を使い、コンピュータを追加するごとに 1 を加えてください。例えば、Counter-Strike をプレイする 1 台目のコンピュータでポート 26900 を使っている場合は、2 台目のコンピュータのポート番号は 26901、3 台目のコンピュータのポート番号は 26902 となります。
4. [終了ポート] ボックスに同じポート番号を入力してください。
5. [サーバ IP アドレス] ボックスにコンピュータの IP アドレスを入力してください。
6. [適用] をクリックしてください。

WAN 設定オプション

WAN 設定画面では、DMZ サーバの設定、MTU サイズの変更、インターネット・ポートで ping に応答するかどうかなどの設定が可能です。

The screenshot shows the WAN Settings page with the following configuration:

- 自動的に接続
- SPIファイアウォールを無効にする
- デフォルトDMZサーバ: 192 . 168 . 1 . 0
- インターネット・ポートはPingに反応する
- MTUサイズ (バイト): 1500

図 8-2: WAN 設定画面

- **自動的に接続**

通常、このオプションは有効にしておきます。これにより、インターネットへのトラフィックが検出されると自動的にインターネットへ接続します。インターネット接続料金が時間で課金され接続料金が高くなるときは、この設定を無効にしてください。この場合、ルータの状態画面で [接続状態] をクリックしそこで手動で接続します。

- **SPI ファイアウォールを無効にする**

通常、このオプションは有効にしておきます。これにより、SPI (ステートフル・パケット・インスペクション) ファイアウォールでローカル・ネットワークが保護されます。しかし、VPN のような特定の通信機能では、SPI 機能を無効にする必要があるかもしれません。

- **デフォルト DMZ サーバ**

NAT をサポートしないオンライン・ゲームやテレビ会議アプリケーションを使用する場合は、デフォルト DMZ サーバ機能を使用できます。ローカル PC をデフォルト DMZ サーバにすることにより、この 1 台の PC でアプリケーションを実行することができます。



メモ: DMZ サーバにはセキュリティの問題が伴います。デフォルト DMZ サーバに設定したコンピュータは、ファイアウォールで保護されずインターネットに公開されています。DMZ サーバからネットワークに攻撃される可能性もあります。

インターネットからの受信トラフィックは、トラフィックがローカル・コンピュータへの応答、またはポート転送で設定したサービスでない限り、ルータによって通常破棄されます。トラフィックを破棄する代わりに、それをネットワーク上の 1 台のコンピュータに転送することができます。このコンピュータはデフォルト DMZ サーバと呼ばれています。

コンピュータ、またはサーバをデフォルト DMZ サーバに設定する手順は以下のとおりです。

1. メイン・メニューの高度な設定 [WAN 設定] をクリックします。
2. サーバの IP アドレスを入力してください。デフォルト DMZ サーバを削除するには、IP アドレスにすべてゼロ(0)を入力してください。
3. [適用] をクリックしてください。

- **インターネット・ポートを ping に応答させる**

インターネットからの“ping”にルータを応答させるには、[インターネット・ポートは ping に応答する] チェック・ボックスをクリックします。これは診断ツールとして使用できますが、インターネットにルータの存在が知られてしまうので特別な理由がない限りこのボックスはチェックしないでください。

- **MTU サイズの設定**


通常、デフォルトの MTU サイズのままにしておきます。Ethernet の MTU 値は 1500 バイトです。PPPoE を使う一部の ISP では、MTU 値を小さくする必要があるかもしれません。ISP から特に指示がない限り、この値は変更しないでください。

MTU サイズよりも大きなパケットは、ルータで MTU サイズに合わせて分割されます。

MTU サイズを変更するには、MTU サイズに新しい MTU 値を入力してください。(64~1500) 設定を保存するために、[適用] をクリックしてください。

ダイナミック DNS サービス

ネットワークに固定 IP アドレスが割り当てられている場合は、ドメイン名を登録することができ、ドメイン・ネーム・サーバ (DNS) によって IP アドレスと関係付けることができます。しかし、動的に割り当てられる IP アドレスを使うインターネット・アカウントでは、IP アドレスを予め知ることができず、またアドレスはしばしば変更されます。この場合、商用のダイナミック DNS サービスを利用することができ、ドメインを彼らの IP アドレスで登録することができます。これにより、現在割り当てられている IP アドレスが何であっても、トラフィックをドメインに転送することができます。

	<p>メモ: ISP がプライベート IP アドレス (例: 192.168.x.x、10.x.x.x) を割り当てる場合は、アドレスがインターネットに送られないのでダイナミック DNS サービスは使用できません。</p>
---	--

ISP が IP アドレスを変更したとき、ルータは自動的にダイナミック DNS サービス・プロバイダにコンタクトし、アカウントにログインして、新しい IP アドレスを記録します。

メイン・メニューの高度な設定 [ダイナミック DNS] をクリックします。ダイナミック DNS を設定するには以下の指示に従ってください。

1. [サービス・プロバイダ] に表示されるダイナミック DNS サービス・プロバイダのアカウントを取得します。(dyndns.org については www.dyndns.org を参照してください。)
2. [ダイナミック DNS サービスを利用する] チェック・ボックスを選択してください。
3. ダイナミック DNS のサービス・プロバイダを選択してください。
4. ダイナミック DNS サービス・プロバイダから提供されたホスト名を入力してください。
5. ダイナミック DNS アカウントのユーザ名を入力してください。
6. ダイナミック DNS アカウントのパスワード(またはキー)を入力してください。
7. ダイナミック DNS サービス・プロバイダで、URL の解決にワイルドカードを使用できる場合は、[ワイルドカード使用] チェック・ボックスを選択してこのオプション機能を使用することができます。
8. 例えば、ワイルドカード機能では、*.yourhost.dyndns.org は yourhost.dyndns.org と同じ IP アドレスになります。
9. 設定を保存するために、[適用] をクリックしてください。

LAN IP 設定オプション

LAN IP 設定では、DHCP や RIP などの LAN IP 設定が可能です。

メイン・メニューの高度な設定 [LAN IP 設定] をクリックすると、以下の画面が表示されます。

The screenshot shows the 'LAN IP 設定' (LAN IP Settings) page. It includes the following sections:

- LAN TCP/IP 設定**:
 - IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 1
 - IPサブネット・マスク: 255 . 255 . 255 . 0
 - RIPの方向: なし (dropdown)
 - RIPバージョン: RIP-1 (dropdown)
- ルータをDHCPサーバとして使用する
 - 開始IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 2
 - 終了IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 51
- 予約アドレス一覧**:

#	IPアドレス	デバイス名	Macアドレス
[追加] [編集] [削除]			

[適用] [キャンセル]

図 8-3: LAN IP 設定画面

ルータのデフォルト LAN IP 設定は以下のとおりです。

- LAN IP アドレス - 192.168.1.1
- サブネット・マスク - 255.255.255.0

このアドレスは、IETF が指定するプライベート・アドレスで、ほとんどのアプリケーションで利用できます。別の IP アドレスを使用する必要がある場合は、この画面で変更することができます。

LAN IP パラメータは以下のとおりです。

- **IP アドレス**

これはルータの LAN IP アドレスです。

- **IP サブネット・マスク**

これはルータの LAN サブネット・マスクです。IP アドレスと IP サブネット・マスクにより、ルータはローカル・アドレスとリモート・アドレスを認識することができます。

- **RIP の方向**

RIP (Router Information Protocol) により、ルータはルーティング情報を他のルータと交換することができます。RIP の方向は、ルータがどのように RIP パケットを送受信するかを決定します。デフォルトは“なし”です。

- [両方向] に設定されている場合、ルータは定期的にルーティング・テーブルをブロードキャストします。
- [両方向] または [受信のみ] に設定されている場合、受信した RIP 情報を取り込みます。
- [なし] に設定されている場合、RIP パケットを送信せず、受信した RIP パケットは無視します。

- **RIP バージョン**

ルータが送信する RIP パケットの形式とブロードキャスト方法を決定します。(受信するときは、両方の形式を認識します。)

- RIP-1 は世界的にサポートされています。RIP-1 は、特別なネットワーク設定の場合を除きほとんどのネットワークに適用可能です。
- RIP-2 はより多くの情報を含みます。RIP-2B はサブネット・ブロードキャストを採用しています。



メモ: LAN IP アドレスを変更すると、ブラウザからの接続は切断されます。この場合、新しい IP アドレス設定を有効にするために、コンピュータを再起動する必要があります。

ルータを DHCP サーバに設定する

デフォルトでは、ルータは DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバとして機能し、LAN 上のコンピュータに IP アドレス、DNS サーバ・アドレス、デフォルト・ゲートウェイ・アドレスなどを提供します。デフォルト・ゲートウェイ・アドレスは、ルータの LAN IP アドレスです。IP アドレスは、この画面で指定されるアドレス・プールから割り当てられます。LAN 上でアドレスの重複を避けるために、プールされているアドレスは割り当て前にテストされます。

ほとんどのアプリケーションでは、デフォルトの DHCP 設定と TCP/IP 設定で問題ありません。

ネットワーク上に別の DHCP サーバがある場合、またはネットワークを手動で設定する場合は、[ルータを DHCP サーバとして使用する] チェック・ボックスをクリアします。これ以外は、チェックしたままにしておいてください。

IP アドレスのプールを、開始 IP アドレスと終了 IP アドレスをで指定してください。これらのアドレスは、ルータの LAN IP アドレスと同じ IP サブネットになければなりません。デフォルトのアドレス割当てを使う場合、デバイスに固定アドレスを割り当てるためにアドレス範囲の一部を保存しておくときも、192.168.1.2 から 192.168.1.254 の間で範囲を定めなければなりません、

ルータは、DHCP をリクエストするすべての LAN デバイスに、以下のパラメータを提供します。

- 設定した範囲内の IP アドレス
- サブネット・マスク
- ゲートウェイ IP アドレス (ルータの LAN IP アドレス)
- プライマリ DNS サーバ (基本設定画面で入力した場合; そうでない場合はルータの LAN IP アドレス)
- セカンダリ DNS サーバ (基本設定画面で入力した場合)

予約アドレス

LAN の PC に予約 IP アドレスを指定すると、PC は DHCP サーバにアクセスするたびに同じ IP アドレスを受取ります。予約 IP アドレスは、固定 IP 設定が必要なサーバに割り当てます。

IP アドレスを予約するには以下の指示に従ってください。

1. [追加] ボタンをクリックしてください。
2. [IP アドレス] ボックスに、PC またはサーバに割り当てる IP アドレスを入力してください。
(IP アドレスは、ルータの LAN サブネットから選択します。(例: 192.168.1.x))
3. PC またはサーバの MAC アドレスを入力してください。
4. 予約アドレスを一覧に追加するために [適用] をクリックしてください。

メモ: 予約アドレスは、PC がルータの DHCP サーバに次にリクエストするまで割り当てられません。PC を再起動するか IP 設定でアドレスを更新してください。

予約アドレスを編集、削除するには、以下の指示に従ってください。

予約アドレスの編集:

1. 一覧から編集するエントリのラジオ・ボタンを選択してください。
2. [編集] をクリックしてください。
3. IP アドレス、MAC アドレス、デバイス名を修正してください。
4. [適用] をクリックしてください。

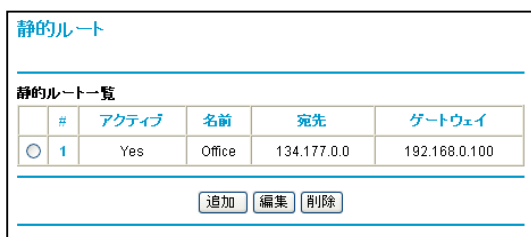
予約アドレスの削除:

1. 一覧から削除するエントリのラジオ・ボタンを選択してください。
2. [削除] をクリックしてください。

静的ルート

静的ルートは、ルータに付加的なルーティング情報を提供します。一般的な環境では、ルータをインターネット接続のために設定すると、ルータには十分なルーティング情報があります。静的ルートを設定する必要はありません。しかし、ネットワークに複数のルータがある場合、または複数の IP サブネットがある場合は、静的ルートを設定しなければなりません。

メイン・メニューの高度な設定 [静的ルート] を選択すると、下の画面が表示されます。



#	アクティブ	名前	宛先	ゲートウェイ
1	Yes	Office	134.177.0.0	192.168.0.100

図 8-4: 静的ルート一覧

静的ルートを追加、編集するには、以下の指示に従ってください。

1. [追加] ボタンをクリックしてください。



図 8-5: 静的ルート画面 - 追加、編集

2. [ルート名] にこの静的ルートの名前を入力してください。
(この名前は識別のためだけに使用されます。)
3. アクセスを LAN だけに制限したい場合は、[プライベート] を選択してください。静的ルートは RIP で報告されません。
4. このルートを有効にしたい場合は、[アクティブ] を選択してください。

5. 宛先 IP アドレスを入力してください。
6. 宛先 IP サブネット・マスクを入力してください。
シングルホストの場合は、255.255.255.255 と入力してください。
7. ゲートウェイ IP アドレスを入力してください。これは同じセグメントのルータでなければなりません。
8. メトリック値として 2~15 の数値を入力してください。
これは、ネットワーク上のほかのルータの数を表します。通常、2 または 3 に設定すると最適ですが、ルータに直接接続している場合は 2 に設定してください。
9. 静的ルートを一覧に追加するために [適用] をクリックしてください。

静的ルートが必要な例：

- 主としてケーブル・モデムからインターネットに接続しています。
- ISDN ルータで会社のネットワークにも接続します。このルータの LAN アドレスは 192.168.1.100 です。
- 会社のネットワークは 134.177.0.0 です。

ルータを最初に設定したとき、2 つの潜在的な静的ルートが設定されます。デフォルト・ルートはゲートウェイとしての ISP で、もう 1 つは 192.168.1.x アドレスのローカル・ネットワークです。この設定で 134.177.0.0 ネットワーク上のデバイスにアクセスしようとする、ルータは ISP にリクエストを送ります。ISP は会社のネットワークにリクエストを送りますが、このリクエストは会社のファイアウォールによって恐らく拒否されます。

この場合、134.177.0.0 ネットワークへは 192.168.1.100 の ISDN ルータを通してアクセスするように静的ルートを設定します。

静的ルートの設定は図 8-5 のようになります。

この例では、

- 宛先 IP アドレスと IP サブネット・マスク・フィールドは、この静的ルートがすべての 134.177.0.x アドレスに適用されることを示しています。
- ゲートウェイ IP アドレスは、これらのアドレスへのすべてのトラフィックが 192.168.1.100 の ISDN ルータに転送されることを示しています。
- ISDN ルータが LAN 上にあるのでメトリックは 2 となります。
- RIP が有効な場合でもセキュリティを確保するためにプライベートを選択します。

リモート管理

リモート管理を使うと、インターネットから WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータの設定、更新、ステータスの確認などを行うことができます。



メモ: ルータのデフォルトのパスワードは必ず安全なパスワードに変更してください。パスワードは最大 30 文字までです。

リモート管理の設定をするには、以下の指示に従ってください。

1. [リモート管理を有効にする] チェック・ボックスをクリックしてください。
2. リモート管理を許可する外部のアドレスを指定してください。

メモ: セキュリティ強化のため、ルータにアクセスできる外部の IP アドレスは最低限にしなければなりません。

- [すべてのユーザ] をクリックすると、インターネット上のすべてのユーザからのアクセスを許可します。
 - [このコンピュータのみ] をクリックすると、1 つの IP アドレスからのアクセスを許可します。
3. Web 設定インタフェースにアクセスするために使うポート番号を指定してください。

Web ブラウザは、通常標準の HTTP サービス・ポート 80 を使います。セキュリティを強化するために、リモート管理 Web インタフェースをカスタム・ポートに変更することができます。1024 から 65534 までの番号を選択してください。ただし、一般的なサービスのポート番号は使用できません。デフォルトは 8080 です。

4. 設定を有効にするために [適用] をクリックしてください。

メモ: ルータにアクセスするには、ルータの WAN IP アドレスをブラウザのアドレス (IE) または場所 (Netscape) に入力し、コロン (:) で区切ってからポート番号を入力してください。例えば、外部アドレスが 134.177.0.123 で、ポート番号が 8080 の場合は、ブラウザには以下のように入力してください:
`http://134.177.0.123: 8080`

ユニバーサル・プラグ & プレイ (UPnP)

ユニバーサル・プラグ & プレイ (UPnP) は、インターネット・アプライアンスやコンピュータなどのデバイスが、ネットワークにアクセスしたり他のデバイスに接続するのを容易にします。UPnP デバイスは、ネットワーク上の他の登録済みの UPnP デバイスから自動的にサービスを検出することができます。

図 8-6: UPnP 画面

UPnP を有効にする: UPnP の自動デバイス設定を有効、または無効にします。デフォルトでは無効に設定されています。無効の場合は、ルータは他のデバイスからルータのリソース (例: ポート転送 (マッピング)) を自動コントロールされるのを禁止します。

アドバタイズ間隔: アドバタイズ間隔は、ルータが UPnP 情報をアドバタイズ (ブロードキャスト) する頻度です。この値は、1 から 1440 (分) の間で指定してください。デフォルトでは 30 分に設定されています。間隔を短く設定すると、ネットワーク・トラフィックは増加しますが、より新しいデバイス状態を保つことができます。間隔を長く設定すると、デバイス状態の更新間隔は長くなりますが、ネットワーク・トラフィックを大幅に減少することができます。

アドバタイズ有効期間: アドバタイズ有効期間を、送信される UPnP パケットのホップ (ステップ) 数で表します。1 ホップとは、UPnP アドバタイズが消えるまでにそれが伝達されるステップ数です。ホップ数は、1 から 255 の間で指定してください。デフォルトのアドバタイズ有効期間は 4 ホップに設定されており、ほとんどの家庭用ネットワークでは問題ありません。もし、一部のデバイスで正しく更新されない場合は、この値を少し上げてみてください。

UPnP ポートマップ一覧: UPnP ポートマップ一覧には、現在ルータにアクセスしている UPnP デバイスの IP アドレス、そのデバイスが開けたポート (内部と外部) が表示されます。UPnP ポートマップ一覧には、どのタイプのポートが開いており、ポートが各 IP アドレスに対しアクティブであるかどうか也表示します。

第 9 章 トラブルシューティング

この章では、NETGEAR 54G+ ワイヤレス・ストレージ・ルータ WGT634U のトラブルシューティングについて説明します。

基本機能のトラブルシューティング

ルータの電源を入れた後、以下の順序で LED を確認してください。

1. 電源を入れると電源 LED が点灯します。
2. 約 10 秒後に以下の状態を確認してください。
 - a. コンピュータが接続されている LAN ポートの LED が点灯します。

接続したデバイスとのリンクが確立すると LED が点灯します。LAN ポートが 100 Mbps で接続されているときは LED は緑です。10 Mbps で接続されているときは LED は黄色です。
 - b. ワイヤレス・ポートの LED が点灯します。
 - c. インターネット・ポートの LED が点灯します。

もし、上記のような状態にならない場合は、これ以降のセクションを参考にしてください。

電源 LED が点灯しない

ルータの電源を入れたときに、電源 LED や他の LED が点灯しない場合は：

- 電動コードがルータに接続されていることを確認してください。また、AC アダプタがコンセントに接続されていることを確認してください。
- ルータに付属している AC アダプタを使用していることを確認してください。

問題が解決しない場合は、ハードウェアに問題があると考えられます。NETGEAR テクニカル・サポートにご連絡ください。

LED が消灯しない

ルータの電源を入れたとき、インターネット LED と LAN LED は約 10 秒間点灯し、その後消灯します。これらの LED が消灯しないときは、ルータに問題があると考えられます。

LED が点灯し 1 分以上経っても消灯しない場合は：

- ルータの電源を入れなおしてください。
- ルータの設定を、工場出荷時のデフォルト設定に戻してください。
ルータの IP アドレスは 192.168.1.1 になります。
この手順については、[9-8 ページの“初期設定とパスワードの復元”](#)を参照してください。

問題が解決しない場合は、ハードウェアに問題があると考えられます。NETGEAR テクニカル・サポートにご連絡ください。

LAN LED とインターネット LED が点灯しない

Ethernet ケーブルを接続しても LAN LED またはインターネット LED が点灯しないときは、以下を確認してください。

- Ethernet ケーブルが、ルータと PC またはハブに確実に接続されていることを確認してください
- 接続されている PC またはハブの電源が入っていることを確認してください。
- 正しいケーブルを使用していることを確認してください。

ルータのインターネット・ポートとケーブル / DSL モデムを接続するには、ケーブル / DSL モデムに付属するケーブルを使用してください。または、標準の Ethernet ケーブルを使用してください。

Web 設定インタフェースへの接続のトラブルシューティング

ローカル・ネットワーク上の PC からルータの Web 設定インタフェースにアクセスできない場合は、以下を確認してください。

- PC とルータの Ethernet 接続を確認してください。
- PC の IP アドレスがルータと同じサブネットにあることを確認してください。ルータでデフォルトの IP アドレスを使用しているときは、PC のアドレスは 192.168.1.2 から 192.168.1.254 の範囲になければなりません。

メモ: PC の IP アドレスが 169.254.x.x と表示される場合は、PC が DHCP サーバ(すなわちルータ)からネットワーク設定情報を取得できていません。PC とルータの接続を確認し、PC を再起動してください。

- ルータの IP アドレスを変更し、その IP アドレスを忘れたときは、ルータを工場出荷時のデフォルト設定に戻してください。これにより、ルータの IP アドレスは 192.168.1.1 になります。この手順については、[9-8 ページの“初期設定とパスワードの復元”](#)を参照してください。
- ブラウザで Java、JavaScript、または ActiveX が有効であることを確認してください。
- ブラウザを一旦終了し、再度実行してください。
- ログイン情報が正しいことを確認してください。工場出荷時のデフォルトのログイン名は“**admin**”、パスワードは“**password**”です。キーボードが CAPS LOCK になっていないことを確認してください。

Web 設定インタフェースで設定した変更がルータに反映されていない場合は、以下を確認してください。

- 設定を入力したときは、別の画面またはタブへ移る前に必ず [適用] ボタンをクリックしてください。[適用] をクリックしないと設定は保存されません。
- Web ブラウザで表示を更新してみてください。キャッシュされている古い設定が表示されていることがあります。

ISP 接続のトラブルシューティング

ルータからインターネットにアクセスできないときは、まず ISP から WAN IP アドレスを取得できているかどうかを確認してください。静的 IP アドレスが割り当てられている場合を除き、ルータは ISP へ IP アドレスをリクエストします。Web 設定インタフェースで WAN IP アドレスを取得できたかどうかを確認することができます。

WAN IP アドレスを確認するには:

1. ブラウザを開き www.netgear.com のような外部のサイトを参照してください。
2. ルータの設定インタフェースのメイン・メニューにアクセスしてください。
3. メンテナンスの [ステータス] を選択してください。
4. インターネット・ポートの IP アドレスを確認してください。0.0.0.0 と表示されている場合は、ルータは ISP から IP アドレスを取得していません。

ルータが ISP から IP アドレスを取得していない場合は、以下の手順でケーブル/DSL モデムにルータを認識させる必要があります。

1. ケーブル/DSL モデムの電源を切ってください。
2. ルータの電源を切ってください。
3. 5 分後にケーブル/DSL モデムの電源を入れてください。
4. モデムの LED でモデムが回線に接続されていることを確認し、ルータの電源を入れてください。

ルータが ISP から IP アドレスをまだ取得できない場合は、以下のような問題が考えられます。

- ISP はログイン・プログラムを必要とするかもしれません。ISP にログインのタイプを確認してください。
- ログイン名とパスワードを間違っていないかどうかを確認してください。
- ISP が PC のホスト名をチェックしている場合は、基本設定画面のアカウント名に PC のホスト名を入力してください。
- ISP が 1 つの Ethernet MAC アドレスのみの接続を許可している場合は、ISP にルータの MAC アドレスを通知してください。

または、

ルータに PC の MAC アドレスを設定してください。これは、基本設定画面で設定することができます。
[3-16 ページの“インターネット接続の手動設定”](#)を参照してください。

ルータは IP アドレスを取得しているが、PC でインターネットの Web ドキュメントを参照できない場合は：

- PC が DNS サーバ・アドレスを認識していないかもしれません。

DNS サーバは、インターネット名 (例: `www` アドレス) を IP アドレスに変換するインターネットのホストです。一般的に、ISP は 1 つ、または 2 つの DNS サーバ・アドレスを提供します。ルータを設定したとき DNS アドレスを入力した場合は、PC を再起動して DNS アドレスを確認してください。あるいは、PC に DNS アドレスを手動で設定してください。

- PC でルータを TCP/IP ゲートウェイとして設定していないかもしれません。

PC が DHCP によってルータからその情報を取得する場合は、PC を再起動してゲートウェイ・アドレスを確認してください。

Ping ユーティリティを使用した TCP/IP ネットワークのトラブルシューティング

TCP/IP をサポートするデバイスには、エコー・リクエスト・パケットを他のデバイスに送信する ping ユーティリティが装備されています。エコー・リクエスト・パケットを受け取ったデバイスは、エコー・リプライを返します。ping ユーティリティを使えば、TCP/IP ネットワークのトラブルシューティングを簡単に行うことができます。

ルータへの LAN パスをテストする

PC からルータへ ping を実行することにより、ルータへの LAN パスを確認することができます。

PC からルータへ ping を実行するには：

1. Windows ツール・バーから [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックしてください。
2. 入力フィールドに “ping <ルータの IP アドレス>” を入力してください。

例: `ping 192.168.1.1`

3. [OK] をクリックしてください。

次のようなメッセージが表示されます。

Pinging <IP アドレス> with 32 bytes of data

パスが機能している場合は、次のようなメッセージが表示されます。

Reply from < IP アドレス>: bytes=32 time=NN ms TTL=xxx

パスが機能していない場合は、次のようなメッセージが表示されます。

Request timed out

パスが正しく機能していない場合は、以下のような問題が考えられます。

- 接続の誤り
 - LAN LED が点灯しているかどうか確認してください。LED が消灯している場合は、[9-2 ページの“LAN LED とインターネット LED が点灯しない”](#)の説明を参照してください。
 - ネットワーク・インタフェース・カードやハブ(使用している場合)の Link LED が点灯しているかどうか確認してください。
- ネットワーク設定の誤り
 - PC に Ethernet カード・ドライバ・ソフトウェアや TCP/IP ソフトウェアがインストールされ、正しく設定されていることを確認してください。
 - ルータと PC の IP アドレスが正しいこと、また同じサブネットに属していることを確認してください。

PC からリモート・デバイスへのパスをテストする

LAN パスが正しく機能することを確認したら、PC からリモート・デバイスまでのパスをテストしてください。Windows ツール・バーから [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックし、以下を入力してください。

ping -n 10 <IP アドレス>

<IP アドレス>は、ISP の DNS サーバのようなリモート・デバイスの IP アドレスです。

パスが機能している場合は、前のセクションで示したのと同様のメッセージが表示されます。

リプライを受け取ることができない場合は：

- PC で、デフォルト・ゲートウェイにルータの IP アドレスが設定されていることを確認してください。
- PC のネットワーク・アドレス(ネットマスクによって指定される IP アドレスの一部)が、リモート・デバイスのネットワーク・アドレスと異なることを確認してください。

- ケーブル/DSL モデムが接続され動作していることを確認してください。
- ISP がホスト名を割り当てる場合は、基本設定画面のアカウント名に PC のホスト名を入力してください。
- ISP が 1 つの Ethernet MAC アドレスのみの接続を許可している場合は、ISP にルータの MAC アドレスを通知してください。または、ルータに PC の MAC アドレスを設定してください。[3-16 ページの“インターネット接続の手動設定”](#)を参照してください。

IP アドレスを更新する

DOS コマンド・プロンプトで、PC の IP アドレスを更新することができます。(Windows 2000/XP の場合)

1. Windows ツール・バーで [スタート] をクリックして、[ファイル名を指定して実行] を選択してください。
2. フィールドに **command** と入力して [OK] をクリックしてください。
3. DOS ウィンドウで **ipconfig** と入力し、現在の IP 設定を参照してください。
4. 現在の IP 設定をリリースするには、
ipconfig /release
と入力してください。
5. 設定がリリースされたことを確認するために、再度 **ipconfig** と入力してください。IP 設定を更新するには、
ipconfig /renew
と入力してください。
ルータがコンピュータに IP アドレスを割り当てるまで、2～3 分かかることもあります。
6. もう一度 **ipconfig** と入力して、下の例のようにすべての IP 設定が検出されていることを確認してください。

IP アドレス: 192.168.1.2
サブネット・マスク: 255.255.255.0
デフォルト・ゲートウェイ: 192.168.1.1

初期設定とパスワードの復元

ここでは、工場出荷時のデフォルト設定に戻す方法を説明します。現在の設定を消去し、工場出荷時のデフォルトに戻すには 2 つの方法があります。

- ルータの Web 設定インターフェースから消去します。7-10 ページの“設定の消去”を参照してください。
- ルータの後部パネルのリセット・ボタンを使用します。

管理パスワードまたは IP アドレスがわからないときは、工場出荷時のデフォルト設定に戻すためにルータの後部パネルのリセット・ボタンを使わなければなりません。

1. 電源 LED が点滅するまでリセット・ボタンを押し続けます。
2. リセット・ボタンをはなして、ルータが再起動するのを待ちます。

Web 設定インターフェースのトラブルシューティング

日付と時間に関する問題

コンテンツ・フィルタの E メール画面には、現在の日付と時刻が表示されます。WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータは、ネットワーク・タイム・プロトコル (NTP) を使いインターネットにあるネットワーク・タイム・サーバから現在の時刻を取得します。ログの各エントリには、日付と時刻が付加されます。日付と時間に関する問題は以下のとおりです。

- 日付が 2000 年 1 月 1 日 (January 1, 2000) と表示される。
原因: ルータがネットワーク・タイム・サーバに接続できていません。インターネット接続設定が正しいことを確認してください。ルータを設定した直後は、5 分ほど待ってから日付と時間をチェックしてください。
- 時間が 1 時間ずれている。
原因: ルータは夏時間を自動調整しません。E メール画面で、[夏時間に調整する] チェック・ボックスをチェックする、またはチェックをはずしてください。

設定変更保存に関する問題

[適用] をクリックして設定変更を保存したとき、Web 設定インターフェースは設定変更を保存したことを通

知しないことがあります。

変更が保存されたことを確認するには、一旦別の設定画面を表示し、再度元の設定画面に戻ってください。ここで設定が変更されていることを確認してください。

USBドライブのトラブルシューティング

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータで USBドライブを使用する場合の問題点については、以下のトラブルシューティングのヒントを参考にして問題解決してください。

定期的にファームウェア・アップグレードの有無をチェックしてください。

機能の追加や不具合の修正は、ファームウェア・アップグレードにより行われます。ファームウェア・アップグレード・アシスタントを利用すれば、ファームウェアを簡単にアップグレードすることができます。

ファームウェアをアップグレードする前に、現在の設定を書き留めてください。

ISP 設定(ログイン名、パスワード、IP アドレスなど)を書き留めてからファームウェアをアップグレードしてください。ルータが再起動したあと、工場出荷時の設定に戻すためにリセット・ボタンを約 10 秒間(電源 LED が点滅するまで)押し続けてください。次に、WAN と LAN の接続を再度確立するために、ISP 設定を入力してください。

ファイル・コピーの日時が正しく記録されるように、ルータのタイム・ゾーンを設定してください。

コピー操作をする前に、必ずタイム・ゾーンを設定してください。メイン・メニューの [コンテンツ・フィルタ] で [E メール] を選択してください。このページで、正しいタイム・ゾーンを選択してください。

USBドライブは 1 台だけルータに接続してください。

ルータには、1 つの USB フラッシュ・ディスク、または 1 台の USB ハード・ディスクを接続することができます。USB ハブは接続できません。

大きなサイズのファイルを FAT32 ファイル・システムの USB ディスクにコピーしないでください。

FAT32 ファイル・システムでは、最大 4GB のファイルをサポートしています。つまり、NTFS システムの 5GB のファイルは、FAT32 ファイル・システムにコピーすることはできません。

ルータに直接接続できない大きな USBドライブは、USB 延長ケーブルを使って USB ポートに接続してください。

USB フラッシュ・ディスクがルータの USB ポートに物理的に直接接続できない場合は、市販の USB 延長ケーブルを使用し接続してください。USB 延長ケーブルは WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータには含まれていません。

ホスト名または DNS 名でルータに接続できないときは、IP アドレスでルータに接続してください。

ローカルで使用する時、ルータ名で USBドライブに接続できないときは、Microsoft ネットワークに問題

がある可能性があります。一時的な対策として、Web ブラウザから LAN IP アドレスを使って接続してください。

ftp://192.168.1.1

リモートからルータの DNS 名で USB ドライブに接続できないときは、WAN ポートの IP アドレスを使って接続してください。

ftp://10.2.3.4

Windows 98 で NetBEUI を使用している場合は、ルータ名でなく IP アドレスを使って接続してください。

ルータ名 (例: ¥¥WGT634U) で USB ドライブにアクセスできないときは、ルータの IP アドレスを使って接続してください。USB ドライブにアクセスするためにルータ名を使用する場合は、NetBEUI をアンインストールし、代わりに TCP/IP をインストールする必要があるかもしれません。

USB ドライブに接続できないときは、ルート・フォルダ名が存在することを確認してください。

すべてのユーザは、ルート・フォルダとルート・フォルダ以下にあるすべてのファイルにアクセスすることができます。指定したルート・フォルダが USB ドライブに存在することを確認してください。

ファームウェア・アップグレードのトラブルシューティング

アップグレードは、ファームウェア・アップグレード・アシスタントを使って、またはアップグレード ページで行うことができます。

メモ: ルータのアップグレードを実行するときは、LAN でルータに直接接続した PC から実行してください。ファームウェアをアップグレードするとき、ワイヤレス接続の PC を使用しないでください。

WGT634U ワイヤレス・ストレージ・ルータにソフトウェアをアップロードするとき、以下の禁止事項を守ってください。

- コンピュータの電源を切り、アップロードを中断すること。
- Web 設定インタフェースを閉じること、別のリンクをクリックすること、または別のページを表示すること。
- ルータの電源を切り、アップロードを中断すること。

アップロードに成功するとルータは自動的に再起動します。

警告: アップロード中に Web ブラウザ、コンピュータまたはルータに割り込みをかけると、ソフトウェアが壊れる可能性があります。